

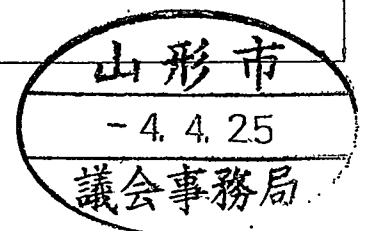
令和4年4月25日

山形市議会
議長 鈴木善太郎 様

山形市議会議員
遠藤吉久

令和3年度政務活動費収支報告について

山形市議会政務活動費の交付に関する条例第6条第1項の規定により、
別紙のとおり令和2年度政務活動費収支報告書を提出します。



令和3年度政務活動費収支報告書

議員名 遠藤吉久

1 収入 政務活動費 1,200,000 円

2 支出 1,200,000 円

(単位;円)

科 目	金 額	備 考
研究研修費	0	
調査旅費	0	
広報広聴費	1,056,324	市政報告書作成費、同送付費用
要請・陳情活動費	0	
資料作成費	0	
資料購入費	143,676	新聞購入費
人件費	0	
事務所費	0	
通信・交通費	0	
合 計	1,200,000	

3 残 額 0 円

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載すること。

(単位:円)

年月日	内容	収入	支出							差引		
			研究研修費	調査旅費	広報広聴費	要請・陳情活動費	資料作成費	資料購入費	人件費		事務所費	交通費
1 3・4・12	政務活動費交付金(2021.04-06月)	300,000										300,000
3 3・4・16	市政報告書ふれあいNO.127印刷代				74,000							226,000
4 3・4・22	市政報告書NO.56印刷代 ふれあい郵送封入封緘代				152,700							73,300
5 3・4・22	市政報告書ふれあいNO.127郵送代				171,506							-98,206
6 3・4・23	毎日新聞・日本経済新聞 各4、5、6月分							21,279				-119,485
7 3・7・12	政務活動費交付金(2021.07-09月)	300,000										180,515
8 3・8・3	市政報告書ふれあいNO.128印刷代				64,000							116,515
9 3・10・6	市政報告書NO.57印刷代 封入、封緘作業代				120,923							-4,408
10 3・10・11	政務活動費交付金(2021.10-12月)	300,000										295,592
11 3・11・12	毎日新聞・日本経済新聞 各7、8、9、10月分							29,600				265,992
12 3・11・18	市政報告書ふれあいNO.129印刷代				64,400							201,592
13 3・11・26	市政報告書ふれあいNO.129郵送代				165,362							36,230
14 3・12・2	市政報告書NO.58印刷代 封入、封緘作業代				89,733							-53,503
15 3・12・28	市政報告書NO.59印刷代				89,100							-142,603
16 4・1・11	政務活動費交付金(2022.01-03月)	300,000										157,397
17 4・1・31	市政報告書ふれあいNO.130印刷代				64,600							92,797
18 4・2・17	毎日新聞・日本経済新聞 各11月~03月分							37,000				55,797
19 4・3・25	朝日新聞 4月から12カ月分							40,779				15,018
20 4・3・29	山形新聞 4月から12カ月分							15,018				0
	頁小計	1,200,000	0	0	1,056,324	0	0	143,676	0	0	0	0
	総合計	1,200,000	0	0	1,056,324	0	0	143,676	0	0	0	0

政務活動費支出報告書

支出番号No.

研究研修費	<input type="checkbox"/>	支出年月日	令和 3年 4月 16日 支出						
調査旅費	<input type="checkbox"/>								
広報広聴費	<input checked="" type="checkbox"/>	支出額	¥	7	4,	0	0	0	円
要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/>								
資料作成費	<input type="checkbox"/>	支出先	山形市旅籠町2-1-33 合資会社 大仁堂印刷所						
資料購入費	<input type="checkbox"/>								
人件費	<input type="checkbox"/>								
事務所費	<input type="checkbox"/>								
通信・交通費	<input type="checkbox"/>								
<p>支出内容</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"> <p>市政報告書ふれあいNo.127部 3,000部印刷代 74,000円</p> <p>二ツ折 500部 × @23 (税込み) = 11,500円</p> <p>三ツ折 2,500部 × @25 (税込み) = 62,500円</p> <p style="text-align: center;">合 計 74,000円</p> </div> <div style="width: 35%; text-align: right;"> <p>NO.127</p> </div> </div>									

領収証

¥74,000-

内消費税額 ¥ 税込

上記の金額正に領収いたしました。誠にありがとうございます。

但し 3折あり NO.127 3000枚 < 2折 500
3折に3折 2500

NO.

令和 3年 4月 16日

袁藤吉久 様

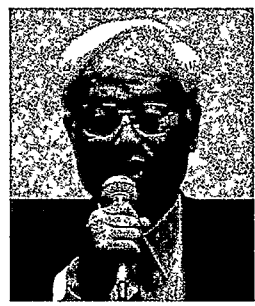
合資会社 大仁堂印刷所
 〒990-0047 山形市旅籠町目1033
 Tel: (023) 624-2482 Fax: 624-2482

「コロナ・脱炭素・デジタル」

今、歴史的転換点に立つ！

山形市議会議員

えんどう 吉久



コロナ対応のため医療・公衆衛生をはじめ各部門・分野で日夜奮闘されておられる皆様方に御礼と感謝を申し上げます！

コロナウイルスワクチンの接種が本市でも始まりました。これまでのような日常を取り戻すべく一日も早い終息を願います。それまで、市民の皆様とともに、力を合わせて頑張っって参りたいと存じます。

三月議会で「般質問を実施」

社会の要請と私たちの生活をいかにマッチング

させていくか

現下の新型コロナウイルスス禍、2050年をめざすとして脱炭素、そしてデジタル化という変革期にあって、社会の要請に私たちはどう対応していくか、行政としてどう市民生活を守り、福祉の向上につなげていくかについて、また、国からの臨時地方創生交付金を財源としてコロナ対策を講じていることについて、効果、スピード感などについて現在の地方自治制度における改善点があるかどうかなどについて質してきました。

脱炭素社会と都市計画をマッチングさせること！

新市民会館の基本コンセプトと駐車場は十分か。さらに旧大沼パライトを行政財産として位置づける手立てと七日町三丁目地内も一体的な開発を！

現市民会館と旧県民会館の敷地を比較すると大幅に狭くなることから、駐車場をはじめとして支障は無いのか。また、旧大沼デパートについては、当面都市振興公社が中心市街地活性化につながる事業を展開するにして



七日町三丁目地内も一体開発を!!

も、市として行政財産としてできるだけ早い時期に位置づけるべきこと。また、山形銀行本店も改築することとなったことから、「七日町三丁目」も一体的に開発すべきことなどについても質問しました。引き続き、市民の皆様のお声を反映して参ります。

「感染症克服」「アフターコロナ」の当初予算を可決！ 脱炭素社会・スマートシティー構築で熱い議論！

— 山形駅西口バスベイ・道の駅「(仮称)蔵王」建設工事へ —

南北くるりんバス運行 JR新駅新設など！

— 「地域公共交通計画」を策定 —

現下の新型コロナウイルス対策、そしてアフターコロナを見据え脱炭素社会、ICT化をはじめとするスマートシティー実現・構築などに向けた一般会計当初予算九六六億円、九特別会計三企業会計を併せた全会計一、八八四億円、今後三年間の介護保険料を改定する条例、市移管の「あかねヶ丘陸上競技場」の設置・管理条例などを審査する三月定例議会は、これらの案件を可決するとともに、監査委員、固定資産評価審査委員の選任に同意し、「安全・安心の医療・介護の実現」のための意見書の提出請願を採択し、二七日間にわたる議論を経て二月二三日に閉会しました。

市民連合山形市議団（佐藤秀明・川口充律・遠藤吉久・松井愛）は、開会期間中綿密な話し合いを行い各委員会での質疑、意見反映を行ってきました。また、独自にコロナ対策としてこれまで三二回（三月三十一日現在）の対策会議を開催し、安心、安全な市民生活に向けて提言、提案の取り組みを逐次行っています。

以下、三月議会での主な内容について、ご報告いたします。

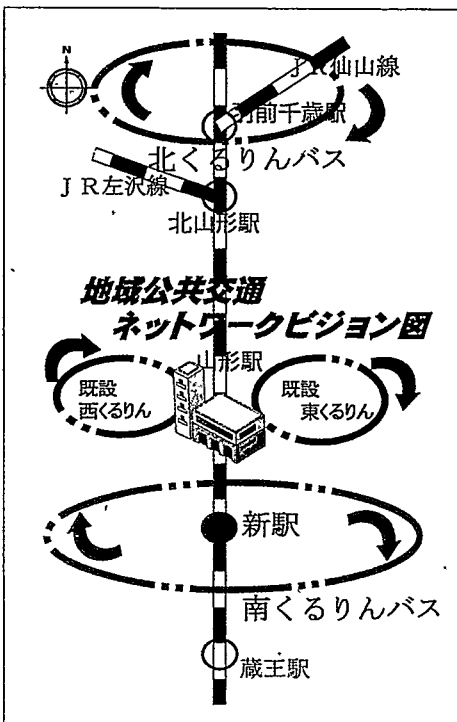
高齢者をはじめ誰もが快適に移動できる環境を整備しようとする、山形市地域公共交通計画が策定されました。

山形市は日常生活における家用自動車の比率が高く、鉄道や路線バスの利用が少ないという特徴があります。今後ニーズに応じた多様な移動手段を充実させる

こと、ICカードなどによる先進技術を導入すること、待ち時間の短縮など公共交通の利便性を高くするなどの方角をめざしています。

一五年後の具体的なネットワークビジョンは図のようになります。

交通軸の構築では羽前千歳駅を結節点として北部地

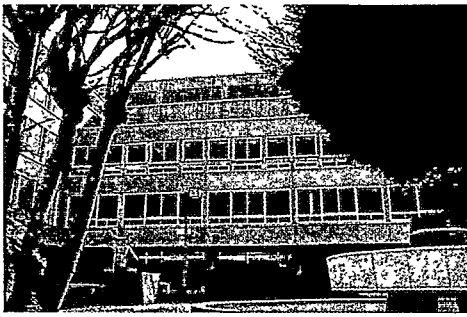


地域公共交通ネットワークビジョン図

区をめぐる「北くるりん」と、山形駅と蔵王駅の間にも新駅を建設して結節点とし、吉原、成沢地区をめぐる「南くるりん」を導入します。

また、タクシーなどを活用した新しい交通サービスを導入をすすめることも盛り込まれました。

今後モデル事業として滝山地区で買物不便解消を目指して「南くるりん」を、タクシー等を活用した新し



敷地面積が1/3に(移転先となる旧県民会館)

旧山形県民会館跡地に建設する新市民会館の構想が示されました
敷地面積が現在の市民会館の三分の一となるため、地上五階地下二階となる見込みで、大ホール二二〇〇席、小ホール三〇〇〜四〇〇席を想定。

新市民会館構想示される

令和一一年度開館に向け始動

交通サービスの導入を楯山、金井、村木沢の各地区で早ければ令和四年四月から実証実験を行います。

「くるりん」市が山形交通に委託して運行する循環バスの愛称。山形駅を起点に東西二路線で運行中。

小ホールは地下二階におくこととなります。そのほか市民の日常的な活動や練習の場としてスタジオなどの創造活動部門、国際ドキュメンタリー映画祭の作品を保存公開するフィルムライブラリーも設置されます。七日町に立地することになるため、市民や観光客が気軽に立ち寄り賑わいの拠点となるよう、一階部分にはラウンジとして活用することとし総事業費を一〇〇億円から一一〇億円と見込み、令和七年度から建設をはじめ令和一一年度開館の予定とします。

新介護保険料が決まる!

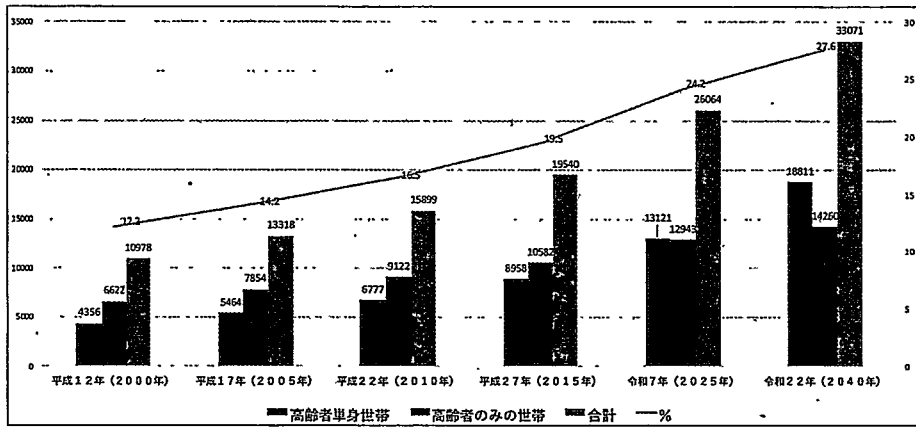
高齢者保健福祉計画

第八期介護保険事業計画から

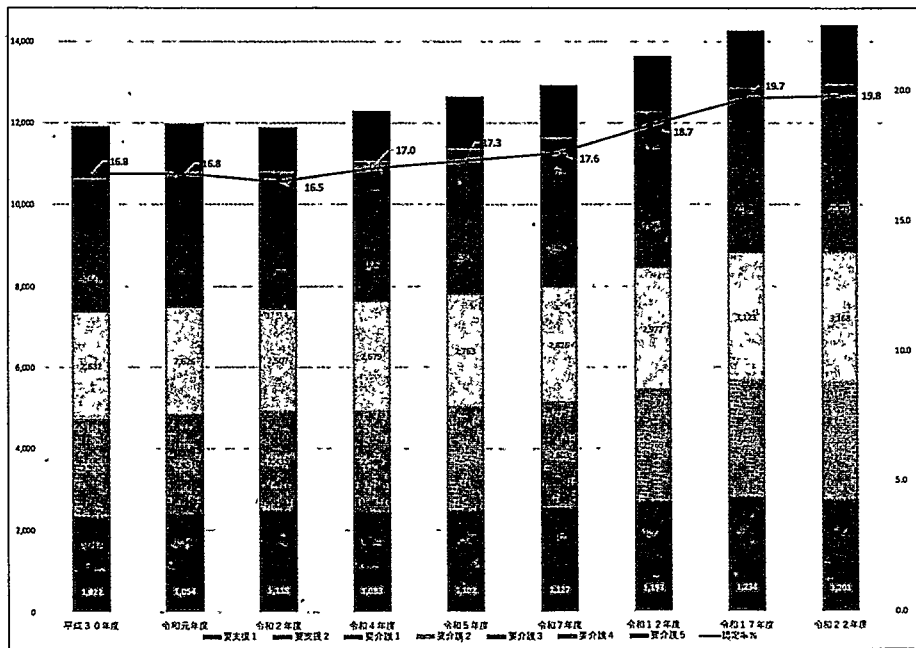
本市の高齢者数は、七万二千人を超えており、今後、認知症高齢者、高齢者単身世帯、高齢者のみの世帯

帯も増加すると見込まれています。こうした中、医療や介護が必要になっても、住み慣

れた地域で安心して望む暮らしができるよう、切れ目のない在宅医療と介護の提供体制を、引き続き整えていくとした見出しのそれぞれの計画が策定されました。



山形市の世帯構造の変化



認定者数の推移

ト調査を実施し、現場の声を施策に反映させるため、介護事業者等との意見交換なども行ないました。

かつては、施設への入所を希望しながらも、施設に空きがなく入所できない高齢者が多数おり、そうした待機者をどう解消するかが大きな課題でした。新しい計画では、多くの高齢者が在宅での療養・介護を望んでいるという調査結果をもとに、住み慣れた家で穏やかに暮らしている方の実例紹介や、多様な当事者のニーズに对应していくための介護従事者を増やす取り組みに力を入れて行きます。

(これらの取り組みは、動画視聴サイトYouTubeで公開していますので、ぜひご覧ください。)

この計画に基づいて進捗状況を毎年度点検・分析を行なった上で、必要に応じて施策の見直しを図ります。

また、施策に関する情報を市のホームページで市民に公表するなど、積極的な

情報提供を行なっていく予定です。

第一号被保険者の介護保険料は、年額六九、六〇〇円(月額換算五、八〇〇円)とし、中長期的な推計で、団塊の世代の全てが七五歳以上となる令和七年度は六、五八八円、介護二以上の高い八五歳以上の人口が急速に増加することが見込まれる令和二二年度は八、四八九円(いずれも月額換算)と見込んでいます。

また、施策に関する情報を市のホームページで市民に公表するなど、積極的な



より身近な利便性の高い競技場に!!

「あかねヶ丘陸上競技場」

— 三種公認継続・山形市で管理へ —

県営「あかねヶ丘陸上競技場」を山形市が県から無償で借り受け、管理運営に当たることになりました。

管理運営予算として、二、八九一万円、三種公認更新事業に一億八、三三三万円が計上提案され審議、可決されました。

当該施設は、市内では唯一公認競技場として主要大

会の会場として利用されるところに中学生・高校生の部活動を中心とした利用や各種大会や記録会等も開催され、年間約一二万人の利用者を考慮し、県との協議で継続利用となりました。

第三種公認が今年四月に満了を迎えるため一年間の延長措置を受け、公認更新に係るトラック等の改修及び競技用備品の整備を行うこととなります。

改修工事は九月に始め、来年四月のリニューアルオープンをめざします。

駐車場内でのイベント開催の使用料については、当局から、「県ではこれまでも無料としており、市においても同様の取り扱いをしたい。」との答弁がありました。

経年劣化したトラックの改修や写真判定装置などの競技備品の更新も行われることから、これまで以上に利用者に愛される施設となるようしっかりとした運営が求められます。

今冬の除排雪費用

「10億2,600万円」を超える!

【豪雪対策の概要報告】

- 豪雪本部立ち上げ
 - ・令和2年12月20日
- 総除排雪委託業者数 96社
- 総借上除雪車数 297台
- 除排雪関連経費 (3/31現在)
 - 1,026,136,146円 (内前払金237,391,400円)
- 道路除雪状況
 - ・一斉除雪7回・山間除雪34回
 - ・路面整正、幅出し 98回
 - ・凍結防止剤散布 80回
- 人的被害(転倒など) 92人
- 道路排雪状況
 - ・車道排雪 48回
 - ・交差点排雪 12回
 - ・歩道排雪 2回
- 町内会等一斉除排雪報償金
 - ・36町内会 62回
 - 4,385,116円
- 排雪場(豪雪本部立上以降)
 - ・馬見ヶ崎川千歳橋右岸
 - 4,250㎡ 堆雪80%
 - ・馬見ヶ崎川球技場前
 - 9,800㎡ 堆雪55%

政務活動費支出報告書

支出番号No.

研究研修費	<input type="checkbox"/>	支出年月日	令和 3年 4 月 22日 支出							
調査旅費	<input type="checkbox"/>									
広報広聴費	<input checked="" type="checkbox"/>	支出額	¥	1	5	2,	7	0	0	円
要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/>									
資料作成費	<input type="checkbox"/>	支出先	山形市銅町1-1-5 中央印刷株式会社							
資料購入費	<input type="checkbox"/>									
人件費	<input type="checkbox"/>									
事務所費	<input type="checkbox"/>									
通信・交通費	<input type="checkbox"/>									

支出内容
 市政報告書No.56 印刷代
 @44 × 3,000部 = 132,000円
 ふれあいNO.127郵送のための住所ラベル貼り、封入、封緘作業代
 @3.0 × 2,273通 = 6,819円
 合計 138,819円 + 消費税 = 152,700円

【領収書添付】○重ならないよう添付してください。
 ○表面のみに貼付し、不足のときは様式2を使用してください。

領 収 証

遠藤 吉久 様

2021年 4 月 22 日

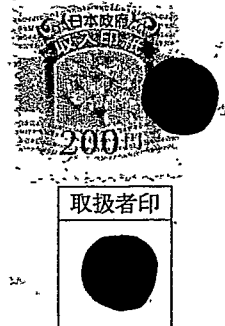
金 額	千	百	拾	万	千	百	拾	円
¥	1	5	2	7	0	0	0	-

内	品代金	円
誤	消費税額	円

現金
 小切手
 手形
 振込
 相殺

但し領収代ほか
 内訳を添付のしおり
 上記の金額正に領収致しました


 中央印刷株式会社
 〒990-0051 山形市銅町1-1-5
 ☎023-681-5533(代)



納品書

売上日	21年04月22日
伝票番号	



遠藤吉久 様

山形市銅町一丁目1-5
☎ 023-631-5533(代)
代表取締役 後藤卓也

PAGE: 1/1

下記の通り納品致します。

NO	品名 / 内容	数量	単価	金額	消費税
110937	市政報告NO. 5 6	3,000	44.00	132,000	13,200
110938	市政報告書ラベル貼り・封入作業 <i>110,127</i>	2,273	3.00	6,819	681

摘要

合計	138,819	13,881
合計税込金額	152,700	

中核市からの県都づくり

No.56

3月定例議会・一般質問質疑特集号

よし ひさ

えんどう 吉久市政報告

発行責任者 遠藤 吉久 山形市落合町403番地 電話641-2783 FAX641-2785

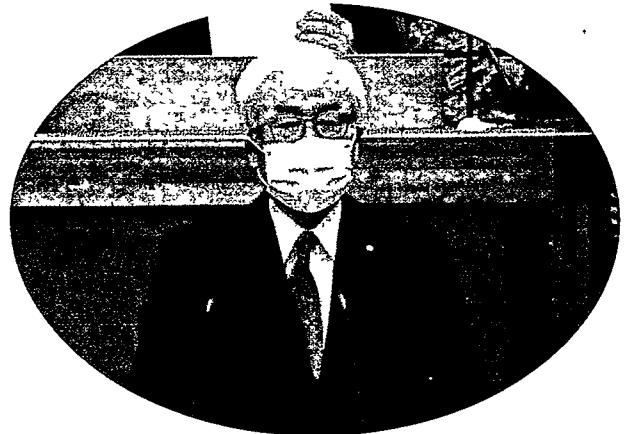
HP <http://www.endo-yoshihisa.jp>

E-mail yendo@endo-yoshihisa.jp

新型コロナウイルス対応のため医療・公衆衛生をはじめ各部門・分野で日夜奮闘されておられる皆様方に御礼と感謝を申し上げます！

コロナウイルスワクチンの接種が本市でも始まりました。これまでのような日常を取り戻すべく一日も早い終息を願います。

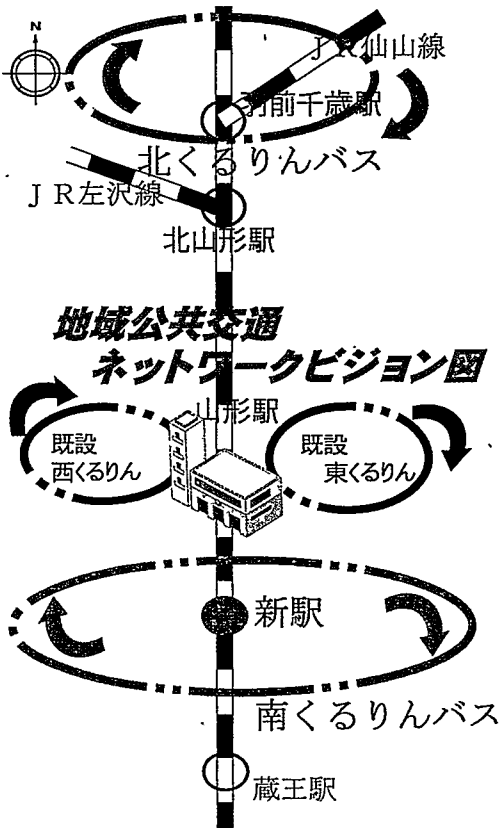
それまで、市民の皆様とともに力を合わせて頑張って参りたいと存じます。



力強く一般質問を行う!!

「羽前千歳駅」を中心とした北循環バス創設へ!

—地域公共交通計画を策定—



山形駅～蔵王駅間に新駅!

高齢者をはじめ誰もが快適に移動できる環境を整備しようとする、「山形市地域公共交通計画」が策定されました。

山形市は日常生活における自家用自動車の比率が高く、鉄道や路線バスの利用が少ないという特徴があります。

今後ニーズに応じた多様な移動手段を充実させること、ICカードなどによる先進技術を導入すること、待ち時間の短縮など公共交通の利便性を高くするなどの方向をめざしています。

15年後の具体的なネットワークビジョンは左図のようになります。

交通軸の構築では羽前千歳駅を結節点と

して公共施設、病院、商業施設など北部地区をめぐる「北くるりん」と、山形駅と蔵王駅の間に新駅を建設して結節点とし、吉原、成沢地区をめぐる「南くるりん」を導入します。

また、タクシーなどを活用した新しい交通サービスの導入をすすめることも盛り込まれました。

今後モデル事業として滝山地区で買物不便解消をめざして南くるりんを、またタクシー

などを活用したサービスを楯山、金井、村木沢の各地区で早ければ令和4年4月から実証実験を行います。

「くるりん」とは？

市が山形交通に委託して運行する循環バスの愛称。山形駅を起点に東西二路線で運行中。

新市民会館の基本構想が明らかに！

—令和11年度の開館・運営をめざす！—

駐車場確保策をはじめとする
七日町地内一体開発を提言！

旧山形県民会館跡地に建設する新市民会館の構想が示されました。

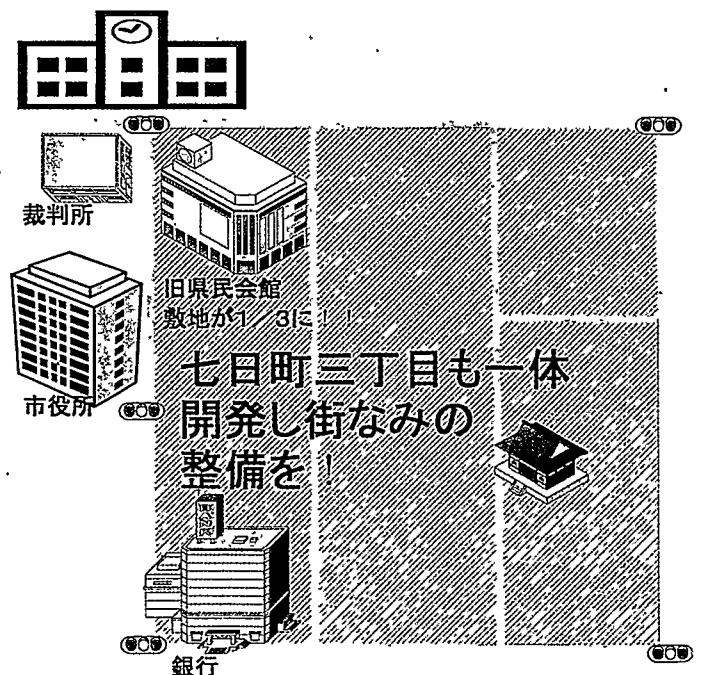
敷地面積が現在の市民会館の3分の1となるため、地上5階、地下2階となる見込みで、大ホール1,200席、小ホール300～400席を想定。小ホールは地下二階におくことになります。

そのほか市民の日常的な活動や練習の場としてスタジオなどの創造活動部門、国際ドキュメンタリー映画祭の作品を保存公開するフィルムライブラリーも設置されます。

七日町に立地することになるため、市民や観光客が気軽に立ち寄り賑わいの拠点となるよう、1階部分にはラウンジとして活用することとし総事業費を100億円から110億円と見込み、令和7年度から建設を始め令和11年度開館の予定とします。

駐車場確保策に関し、山銀本店の改築とも併せ七日町三丁目地内の一体開発を提言しましたが、「区画整理」の手法となるため、難しいとの答弁でした。

(関連質疑はP5～P6にございますのでご覧下さい。)



コロナ・脱炭素・デジタル化へ向かう 歴史的転換点の都市政策を問う！ 宅地開発急拡大などに伴う学校・学童クラブはどうする？

3月4日、市政に関わる「一般質問」を行いました。市民の皆様方からのご要望、ご意見を市政に届けるべく、その実現と市の将来について発言して参りました。以下にその質疑内容をご報告いたします。

市民と一体となった基本計画の実践策について

問 国連の定めたSDGs、2050年のゼロカーボン社会の実現に加え、コロナ禍における新生活様式の実践やテレワーク等による働き方大変革、歴史的転換点のなかで、市の重要計画が実行されようとしているが市長は市民に対してどのように説き、理解を得ていくのか。

答 新型コロナウイルス感染症が世の中に与えている影響は甚大であり、生活様式や働き方の転換、社会経済活動への制約などにより、人々の意識に変革をもたらし、歴史的な大転換であると考えている。

本市としては、こうした大きな変化を地方創生のチャンスと捉え、発展計画2025を変更し「感染症に強いまちづくり」と「アフターコロナにおける地方創生の推進」を視点とした新たな政策を加えた。

策定を予定している様々な個別計画においても、同様の視点により、必要に応じて方向性や取り組みを盛り込むこととしている。

健康医療先進都市をめざす山形市として「感染症に強いまちづくり」を進めること、AIやIoTはじめ、先端技術を積極的に活用して課題解決を進めることなど将来を見据え、市民ニーズと時代の変化に的確に対応す

るまちづくりを進めることがまちの魅力向上につながるものと考えており、そうした観点でそれぞれの計画策定をすすめてきた。

このような考えを、市民に分かりやすく説明し、市民や事業者の理解と協力を得るよう取り組んでいく。

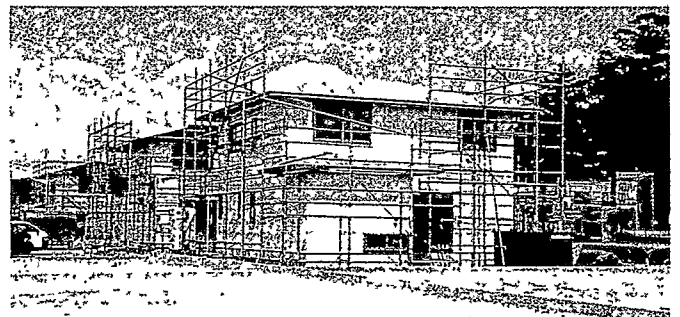
市街化調整区域への編入について

問 農業振興地域における開発と住宅建設がすすみ、その役割、役目を終えたと思われる地域がある。

実際の土地利用や用途を踏まえ、将来においてもより有効に活用できるよう、市街化区域に編入する手続きを進め、用途地域を見直ししてはどうか。

答 市街化区域の編入については、国や県が強い権限を有し、時間もかかることから、人口増に向け市独自に取り組むことができる政策として土地利用について開発許可の規制緩和を行っている。

農業振興地域の農振白地の開発は進んできているが、農用地区域については、確保すべき優良農地とされ、開発行為を行う場合は国の法律等に基づく農振除外が条件となる。



現状に合わせた用途地域の指定を!!

土地利用の規制緩和については、国・県の厳しい規制によって容易に実行できない状況にあるが、市として取り組める方法を模索しながら、さらなる土地の有効活用をすすめていく。

住宅建設の大幅増加に伴う教室 ・学童保育クラブの環境整備について

問 また、大変多くの住宅建設が進むことによって、いずれ5、6年後には、小中学校のクラス増や「放課後児童クラブ」の環境整備も必要になると考えるがどうか。

答 小中学校の児童生徒数に対する教室等の増減については、教室数が不足する場合は、特別教室等を改修して普通教室に転用することや、教室棟の増築等に対応している。今後とも、児童生徒数の増減の推移に注視し、良好な教育環境の整備に努めていく。

放課後児童クラブについては、登録児童数の増加見込みや推移などの動向を踏まえ、小学校や市有施設等の活用を図りながら整備を進めていくこととしている。今後も地域の実情に合わせ、各クラブと協議のうえ、子どもたちが安全・安心に過ごせるよう教育委員会と連携しながら環境整備に取り組んでいく。

橋などに集中する渋滞解消策について

問 本市の特性として、中心市街地に向かうためには、河川、奥羽本線、バイパスを横断する必要があるが、日常的に渋滞が発生し、渋滞解消策が急務だ。その一つであるスポーツセンター西側区間の4車線化の進捗状況はどうか。

答 市街地周辺部と中心市街地を結ぶ主要な路線は、本市の骨格を成す道路として、山形市都市計画マスタープランにおいて「都心直結道路」に位置づけており、昨年3月には国道112号「霞城改良」が全面開通するなど主要な渋滞解消箇所の解消に向け、順次整備を進めてきている。

この「都心直結道路」に該当するスポーツ

センター西側区間の4車線化については、県主催の勉強会が開催されてきており、4車線化に向けた課題の確認、情報の共有を図るとともに、整備の方向性について検討を行っているところである。



市費投入による右折信号設置を！

市費投入による右折信号機の設置 について

問 右折レーンがあっても「右折用の信号機」が無いと日常的に渋滞が発生し、また安全上も問題があり、二酸化炭素の排出もエネルギーの浪費もある。

これらを解消するため、現状に鑑み市費を投入して右折信号機を設置することとしてはどうか。

答 信号機設置費用の負担に関して、山形県警察本部の見解は、地方財政法及び警察法の規定により警察行政が行うべき事務等の費用を他の行政機関に対して負担させてはならないとのことであった。

令和2年度の本市における信号機の設置は1箇所、矢印信号機への改良は3箇所となっている。山形県全体での新設は山形市の1箇所も含めて4箇所となっており、近年は設置数が少ない状況が続いている。

今後も信号機の設置に関しては、新設・改良を問わず重要要望事項や地域からの設置要望の伝達などを通し、継続して山形警察署や山形県警察本部に対して要望を行っていく。

また、都市計画道路等の整備時においても信号機について協議をすすめていく。


技術革新に対する行政支援策と 取組行程の明示について

問 カーボンニュートラルの実現と行政支援、市民負担について、具体的なロードマップを早急に示していくべきと考えるがどうか。

答 (仮称)第4次山形市環境基本計画では、めざす将来の環境像「みんなで創る豊かな自然と笑顔輝く持続的発展可能なまち」の実現のため5つの基本目標を掲げ、市民・事業者・行政それぞれの主な取り組みを掲載している。

2050年までのカーボンニュートラルの実現に向けては、革新的なイノベーションが重要であり、国はその研究開発を加速化するための支援を明言している。また、実現するためのロードマップ及び国と地方による具体的な方策について議論する場として「国・地方脱炭素実現会議」が開催され、議論がすすめられている。

今後、ロードマップの具体化とその実現の方策について示されると認識しているが、現在本市で実施している施策に加え、高い技術の導入普及促進により国民が受ける経済的負担を軽減するための支援や、自治体への財政支援など様々な支援を国に対して強く要望するとともに、具体的な施策についても、国の動向を注視しながら個別計画の中で検討していく。

 戦略的な企業誘致・森林産業の育成策について

問 産業界における脱炭素の取り組みや環境負荷低減に資する産業の育成、企業誘致と産業団地の整備などグリーンリカバリーにもつながる戦略的な施策を10年、30年に渡る計画として構築すべきと考えるがどうか。

化石燃料に替わる水素あるいはアンモニア技術産業の誘致、開発拠点の整備、さらには二酸化炭素を吸収する森林の整備、涵養も重要であり、森林整備による移出量取引が制度化されれば、地方の財源確立にもつながってくると考えるがどうか。

答 令和2年12月に経済産業省が中心となり策定した「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」では、従来の発想を転換し、積極的に温暖化対策を行うことが産業構造や経済社会への変革をもたらし、次なる大きな成長に繋がるという「経済と環境の好循環」を創る産業政策が示された。

本市では、現在策定中の(仮称)「第4次山形市環境基本計画」において、基本目標の一つに「脱炭素社会」を掲げ「2050年ゼロカーボンシティ」をめざしている。

平成30年に分譲完了した山形中央インター産業団地においては、立地企業が屋上緑化などに取り組む事例もあり、今後国の環境負荷低減に資する産業の育成や関連する企業の動向を踏まえ、現在進めている


(仮称)山形北インター産業団地開発事業において、誘致する業種などを具体的に検討していく。

また、荒廃した森林の整備を進めていくことが、森林吸収量の増加や林業の雇用創出にも繋がることから、新たな森林経営管理制度を活用した森林整備を加速していく。

なお、排出量取引の制度化につきましては、現在、国が導入に向け検証をすすめており、その動向を注視していく。



戦略的な企業誘致と育成を！(仮称)山形北インター産業団地予定地

 新市民会館の基本コンセプトと七日町三丁目街区の一体開発について

問 新市民会館の基本コンセプト、主催者用トラック、来館者用の大型バス

の駐車スペースの確保についてどう考えているか。

また、この際、新市民会館の建設、山形銀行本店の改築に合わせ「七日町三丁目1番から5番まで」の街区を一体として街並み整備をしてはどうか。

答 山形市民会館は、本市の文化芸術の中心施設として、市民が様々な文化芸術に触れる鑑賞の場、自らが文化芸術活動を行う発表や練習の場として活用され、全国同規模施設の平均より約10%稼働率が高い。

このことから、新市民会館の基本コンセプトについては、これまで果たしてきた市の文化芸術活動の拠点としての役割を継承したいと考えている。加えて、さらなる発展をめざし、中心市街地への移転をきっかけに、市民や観光客の皆様が気軽に立ち寄れる交流の場として、まちの賑わい創出に寄与する施設にしたいと考えている。

また、アフターコロナを見据えた感染症防止対策、映像をはじめ多様化する次世代ニーズに対応できる機能、避難所等の防災機能も兼ね備え「創造都市やまがた」の推進に寄与する施設として整備していく。

敷地内に大型トラックの搬入ヤードや大型バスから乗り降りするための一時駐車場所設置は可能であると考えている。

一般来場者用の駐車場については、市の中央駐車場や県営駐車場に加え、近隣の民間駐車場の利用をしているが、障がい者及び関係者用駐車場については敷地内での確保に努めていく。

七日町三丁目街区は面積が約5.6ヘクタールの都市計画道路に囲まれたエリアで、西側の旧県庁半郷線沿線には山形県JAビルや山形商工会議所等の中高層の建築物が整備されておりますが、それ以外の区画は、近年整備された中高層建築や低層の家屋が密集している。整備手法は土地区画整理事業が考えられますが、平均的な減歩率が34%程度であることを勘案すると整備は難しいと考えられる。

山形銀行本店の建て替えもあると聞いており、新市民会館や文翔館、市役所側も含めて一帯と捉え、賑わいの創出を図るよう検討をすすめていく。



新市民会館建設に合せ七日町一帯の開発を!!

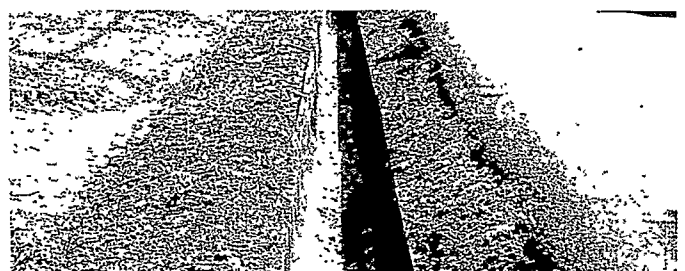
問 耕作放棄地対策と土地改良区への支援策について

問 耕作放棄地の現状をどう考えているか。また、市民が日常生活を営む上で、土地改良区が建設した道路を生活道路として利用している実態があることから改良区への補助を強化すべきと考えるがどうか。

答 農業委員会調査では、令和元年末で約27.3ヘクタールとなっており、直近の3年刊で見ると約30ヘクタールで推移している。

高齢化、後継者不足や鳥獣被害に伴う耕作放棄地対策は喫緊の課題と捉えている。耕作放棄地対策として、有害鳥獣対策を強化するとともに、小規模農家の営農継続に向けた新たな施策の創設をしている。農業戦略本部で中山間地域向けの戦略農産物を決定したところであり、その振興を図り耕作放棄地の発生防止に努めていく。

土地改良区へのさらなる支援については、他自治体の土地改良事業に係る支援の動向をとらえながら、補助や支援のあり方について調査、研究をしていく。



農振地域と市街化区域の狭にある水路と道路

「コロナ・脱炭素・デジタル」

今、歴史的転換点に立つ！

山形市議会議員

えんどう 吉久



コロナ対応のため医療・公衆衛生をはじめ各部門・分野で日夜奮闘されておられる皆様方に御礼と感謝を申し上げます！

コロナウイルスワクチンの接種が本市でも始まりました。これまでのような日常を取り戻すべく一日も早い終息を願います。それまで、市民の皆様とともに、力を合わせて頑張りたいと存じます。

三月議会で「一般質問を実施」

社会の要請と私たちの生活をいかにマッチング

させていくか

現下の新型コロナウイルスス禍、2050年にめざすとしている脱炭素、そしてデジタル化という変革期にあつて、社会の要請に私たちはどう対応していくか、行政としてどう市民生活を守り、福祉の向上につなげていくかについて、また、国からの臨時地方創生交付金を財源としてコロナ対策を講じていることについて、効果、スピード感などについて現在の地方自治制度における改善点があるかどうかなどについて質してきました。

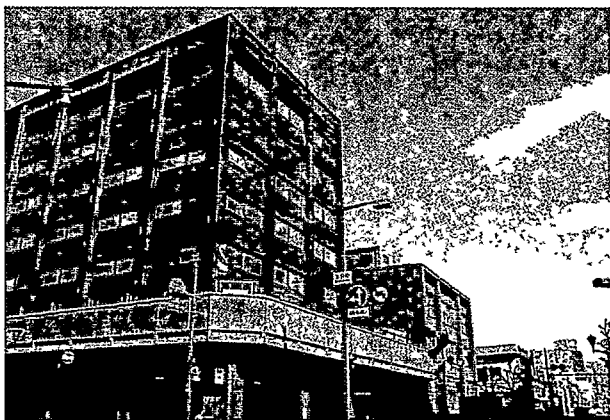
脱炭素社会と都市計画をマッチングさせること！

新市民会館の基本コンセプトと駐車場は十分か。さらに旧大沼デパートを行政財産として位置づける手立てと七日町三丁目地内も一体的な開発を！

現市民会館と旧県民会館の敷地を比較すると大幅に狭くなることから、駐車場をはじめとして支障は無いのか。また、旧大沼デパートについては、当面都市振興公社が中心市街地活性化につながる事業を展開するにして

も、市として行政財産としてできるだけ早い時期に位置づけるべきこと。また、山形銀行本店も改築することとなったことから、「七日町三丁目」も一体的に開発すべきことなどについても質問しました。

引き続き、市民の皆様のお声を反映して参ります。



七日町三丁目地内も一体開発を！！

「感染克服」「アフターコロナ」の当初予算を可決！ 脱炭素社会・スマートシティー構築で熱い議論！

— 山形駅西口バスベイ・道の駅「(仮称)蔵王」建設工事へ —

南北くるりんバス運行 JR新駅新設など！

「地域公共交通計画」を策定

現下の新型コロナウイルス対策、そしてアフターコロナを見据え脱炭素社会、ICT化をはじめとするスマートシティー実現・構築などに向けた一般会計当初予算九六六億円、九特別会計三企業会計を併せた全会計一、八八四億円、今後二年間の介護保険料を改定する条例、市移管の「あかねヶ丘陸上競技場」の設置・管理条例などを審査する二月定例議会は、これらの案件を可決するとともに、監査委員、固定資産評価審査委員の選任に同意し、「安全・安心の医療・介護の実現」のための意見書の提出請願を採択し、二七日間にわたる議論を経て三月三日に閉会しました。

市民連合山形市議団（佐藤秀明・川口充律・遠藤吉久・松井愛）は、開会期間中綿密な話し合いを行い各委員会での質疑、意見反映を行ってきました。また、独自にコロナ対策としてこれまで三二回（三月三十一日現在）の対策会議を開催し、安心、安全な市民生活に向けて提言、提案の取り組みを逐次行っています。

以下、三月議会での主な内容について、ご報告いたします。

高齢者をはじめ誰もが快適に移動できる環境を整備しようとする、山形市地域公共交通計画が策定されました。

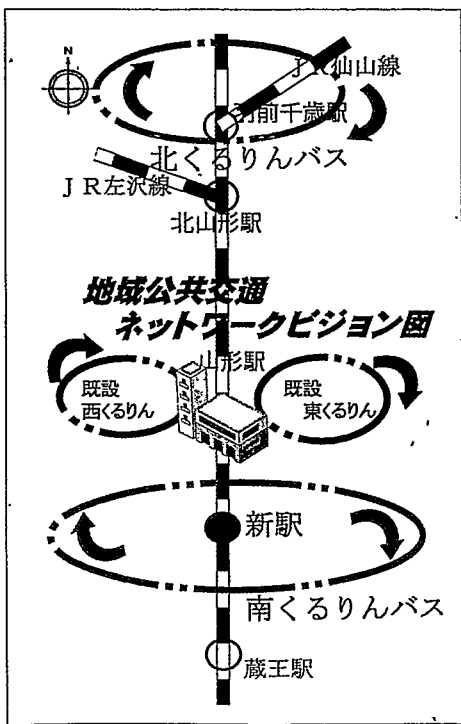
山形市は日常生活における家用自動車の比率が高く、鉄道や路線バスの利用が少ないという特徴があります。今後ニーズに応じた多様な移動手段を充実させる

こと、ICカードなどによる先進技術を導入すること、待ち時間の短縮など公共交通の利便性を高くするなどの方角をめざしています。

一五年後の具体的なネットワークビジョンは図のようになります。交通軸の構築では羽前千蔵駅を結節点として北部地

区をめぐる「北くるりん」と、山形駅と蔵王駅の間の新駅を建設して結節点とし、吉原、成沢地区をめぐる「南くるりん」を導入します。また、タクシーなどを活用

した新しい交通サービスの導入をすすめることも盛り込まれました。今後モデル事業として滝山地区で買物不便解消を目指して「南くるりん」を、タクシー等を活用した新し



地域公共交通ネットワークビジョン図



敷地面積が1/3に(移転先となる旧県民会館)

旧山形県民会館跡地に建設する新市民会館の構想が示されました
敷地面積が現在の市民会館の三分の一となるため、地上五階地下二階となる見込みで、大ホール二二〇〇席、小ホール三〇〇〜四〇〇席を想定。

令和一一年度開館に向け始動

新市民会館構想示される

交通サービスの導入を楯山、金井、村木沢の各地区で早ければ令和四年四月から実証実験を行います。

「くるりん」
市が山形交通に委託して運行する循環バスの愛称。山形駅を起点に東西二路線で運行中。

小ホールは地下二階におくこととなります。
そのほか市民の日常的な活動や練習の場としてスタジオなどの創造活動部門、国際ドキュメンタリー映画祭の作品を保存公開するフィルムライブラリーも設置されます。

七日町に立地することになるため、市民や観光客が気軽に立ち寄り賑わいの拠点となるよう、一階部分にはラウンジとして活用することとし総事業費を一〇〇億円から一一〇億円と見込み、令和七年度から建設をはじめ令和一一年度開館の予定とします。

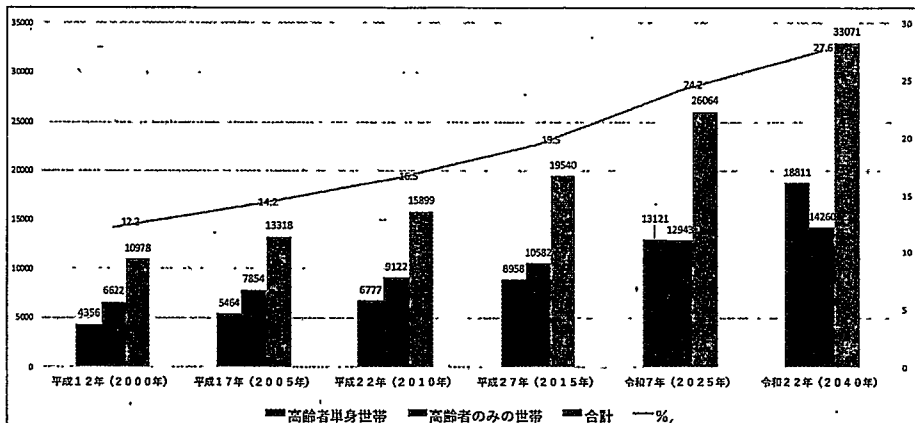
新介護保険料が決まる！

高齢者保健福祉計画 第八期介護保険事業計画から

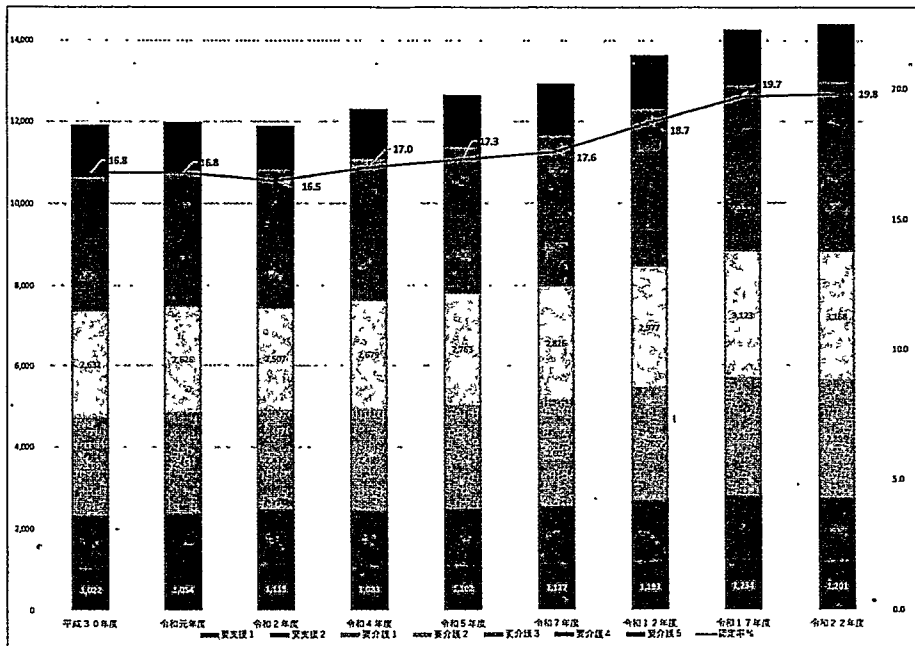
本市の高齢者数は、七万二千人を超えており、今後、認知症高齢者、高齢者単身世帯、高齢者のみの世帯

帯も増加すると見込まれています。こうした中、医療や介護が必要になっても、住み慣

れた地域で安心して望む暮らしができるよう、切れ目のない在宅医療と介護の提供体制を、引き続き整えていくとした見出しのそれぞれの計画が策定されました。
策定にあたっては、高齢者の生活状況や、介護者の就労状況、介護保険事業者等実態など、広くアンケート



山形市の世帯構造の変化



認定者数の推移

ト調査を実施し、現場の声を施策に反映させるため、介護事業者等との意見交換なども行ないました。

かつては、施設への入所を希望しながらも、施設に空きがなく入所できない高齢者が多数おり、そうした待機者をどう解消するかが大きな課題でした。新しい計画では、多くの高齢者が在宅での療養・介護を望んでいるという調査結果をもとに、住み慣れた家で穏やかに暮らしている方の実例紹介や、多様な当事者のニーズに添えていくための介護従事者を増やす取り組みに力を入れて行きます。

(これらの取り組みは、動画視聴サイトYouTubeで公開していますので、ぜひご覧ください。)

この計画に基づいて進捗状況を毎年度点検・分析を行なった上で、必要に応じて施策の見直しを図ります。

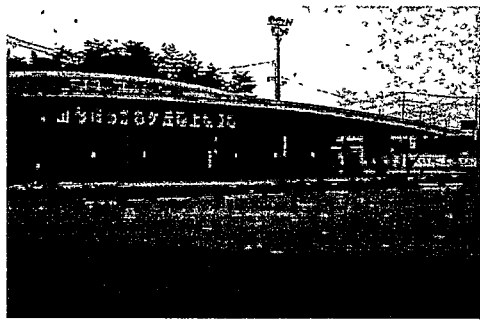
また、施策に関する情報を市のホームページで市民に公表するなど、積極的な

情報提供を行なっていきます。

第一号被保険者の介護保険料は、年額六九、六〇〇円(月額換算五、八〇〇円)とし、中長期的な推計で、団塊の世代の全てが七五歳以上となる令和七年度は六、五八八円、介護ニーズの高い八五歳以上の人口が急速に増加することが見込まれる令和二二年度は八、四八九円(いずれも月額換算)と見込んでいます。

「あかねヶ丘陸上競技場」

三種公認継続・山形市で管理へ



より身近な利便性の高い競技場に!!

県営「あかねヶ丘陸上競技場」を山形市が県から無償で借り受け、管理運営に当たることになりました。管理運営予算として、二、八九一万円、三種公認更新事業に一億八、三三三万円が計上提案され審議、可決されました。当該施設は、市内では唯一公認競技場として主要大

会場の会場として利用されるところに中学生・高校生の部活動を中心とした利用や各種大会や記録会等も開催され、年間約一二万人の利用者を考慮し、県との協議で継続利用となりました。

経年劣化したトラックの改修や写真判定装置などの競技備品の更新も行われることから、これまで以上に利用者に愛される施設となるようなしっかりとした運営が求められます。

今冬の除排雪費用「10億2,600万円」を超える!

【豪雪対策の概要報告】

- 豪雪本部立ち上げ
 - ・令和2年12月20日
- 総除排雪委託業者数 96社
- 総借上除雪車数 297台
- 除排雪関連経費 (3/31現在)
 - 1,026,136,146円 (内前払金237,391,400円)
- 道路除雪状況
 - ・一斉除雪7回・山間除雪34回
 - ・路面整正、幅出し 98回
 - ・凍結防止剤散布 80回
- 人的被害(転倒など) 92人
- 道路排雪状況
 - ・車道排雪 48回
 - ・交差点排雪 12回
 - ・歩道排雪 2回
- 町内会等一斉除排雪報償金
 - ・36町内会 62回
 - 4,385,116円
- 排雪場(豪雪本部立上以降)
 - ・馬見ヶ崎川千歳橋右岸 4,250㎡ 堆雪80%
 - ・馬見ヶ崎川球技場前 9,800㎡ 堆雪55%

政務活動費支出報告書

支出番号No.

研究研修費	<input type="checkbox"/>	支出年月日	令和3年 4月 22日 支出					
調査旅費	<input type="checkbox"/>							
広報広聴費	<input checked="" type="checkbox"/>	支出額	¥ 1	7	1,	5	0	円
要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/>		6					
資料作成費	<input type="checkbox"/>	支出先	東京都千代田区霞ヶ関1-3-2 日本郵便株式会社 流通センター内郵便局 扱					
資料購入費	<input type="checkbox"/>							
人件費	<input type="checkbox"/>							
事務所費	<input type="checkbox"/>							
通信・交通費	<input type="checkbox"/>							
<p>支出内容</p> <p style="margin-left: 20px;">市政報告書郵送代 市政報告書ふれあいNO.127</p> <p style="margin-left: 20px;">区内特別 @73 × 1,766 通 = 128,918 円</p> <p style="margin-left: 20px;">通常 @84 × 507 通 = 42,588 円</p> <p style="text-align: right; margin-right: 20px;">合計 171,506 円</p>								
<p>【領収書添付】○重ならないよう添付してください。</p> <p style="margin-left: 20px;">○表面のみに貼付し、不足のときは様式2を使用してください。</p>								

領収書

遠藤 吉久 様

[別納引受]		
第一種定形		
@84	507通	¥42,588

小計		¥42,588

区内特別基(定)		
@73	1,766通	¥128,918

小計		¥128,918

郵便物引受合計通数	2,273通	
課税計(10%)		¥171,506
(内消費税等)		¥15,591)
非課税計		¥0

合計		¥171,506
お預り金額		¥171,506

印紙税申告納
付につき趣町
税務署承認済



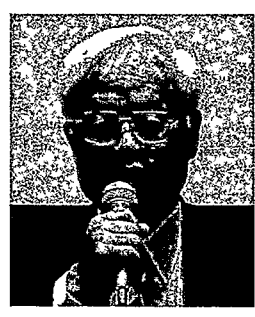
〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
取扱日時: 2021年 4月22日 14:05
担当: XXXXXXXXXX
発行No. 210422A6762 端N70箱01
連絡先: 山形流通センター内郵便局
TEL: 023-641-9364

「コロナ・脱炭素・デジタル」

今、歴史的転換点に立つ！

山形市議会議員

えんどう 吉久



コロナ対応のため医療・公衆衛生をはじめ各部門・分野で日夜奮闘されておられる皆様方に御礼と感謝を申し上げます！

コロナウイルスワクチンの接種が本市でも始まりました。これまでのような日常を取り戻すべく一日も早い終息を願います。それまで、市民の皆様とともに、力を合わせて頑張りたいと思っております。

三月議会で「一般質問を実施！」

社会の要請と私たちの生活をいかにマッチング

させていくか

現下の新型コロナウイルスス禍、2050年をめざすとしている脱炭素、そしてデジタル化という変革期にあつて、社会の要請に私たちはどう対応していくか、行政としてどう市民生活を守り、福祉の向上につなげていくかについて、また、国からの臨時地方創生交付金を財源としてコロナ対策を講じていることについて、効果、スピード感などについて現在の地方自治制度における改善点があるかどうかなどについて質してきました。

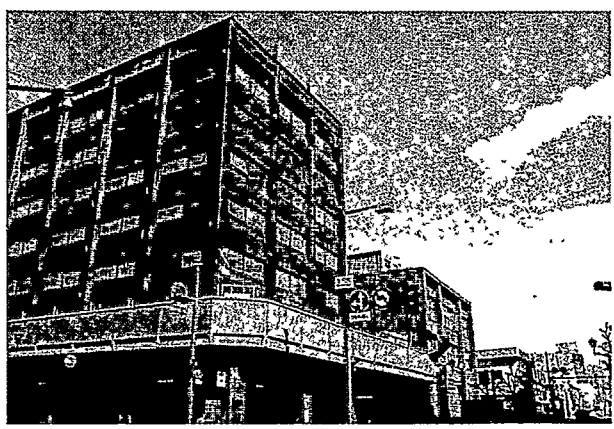
脱炭素社会と都市計画をマッチングさせること！

新市民会館の基本コンセプトと駐車場は十分か。さらに旧大沼デパートを行政財産として位置づける手立てと七日町三丁目地内も一体的な開発を！

現市民会館と旧県民会館の敷地を比較すると大幅に狭くなることから、駐車場をはじめとして支障は無いのか。また、旧大沼デパートについては、当面都市振興公社が中心市街地活性化につながる事業を展開するにして

も、市として行政財産としてできるだけ早い時期に位置づけるべきこと。また、山形銀行本店も改築することとなったことから、「七日町三丁目」も一体的に開発すべきことなどについても質問しました。

引き続き、市民の皆様のお声を反映して参ります。



七日町三丁目地内も一体開発を!!

感染症克服「アフターコロナ」の当初予算を可決！ 脱炭素社会・スマートシティー構築で熱い議論！

— 山形駅西口バスベイ・道の駅「(仮称)蔵王」建設工事へ —

現下の新型コロナウイルス対策、そしてアフターコロナを見据え脱炭素社会、ICT化をはじめとするスマートシティー実現・構築などに向けた一般会計当初予算九六六億円、九特別会計三企業会計を併せた全会計一、八八四億円、今後三年間の介護保険料を改定する条例、市移管の「あかねヶ丘陸上競技場」の設置・管理条例などを審査する二月定例議会は、これらの案件を可決するとともに、監査委員、固定資産評価審査委員の選任に同意し、「安全・安心の医療・介護の実現」のための意見書の提出請願を採択し、二七日間にわたる議論を経て二月三日に閉会しました。

市民連合山形市議団（佐藤秀明・川口充律・遠藤吉久・松井愛）は、開会期間中綿密な話し合いを行い各委員会での質疑、意見反映を行ってきました。また、独自にコロナ対策としてこれまで三二回（三月三十一日現在）の対策会議を開催し、安心、安全な市民生活に向けて提言、提案の取り組みを逐次行ってきました。

以下、三月議会での主な内容について、ご報告いたします。

南北くるりんバス運行 JR新駅新設など！

「地域公共交通計画」を策定

高齢者をはじめ誰もが快適に移動できる環境を整備しようとする、山形市地域公共交通計画が策定されました。

山形市は日常生活における家用自動車の比率が高く、鉄道や路線バスの利用が少ないという特徴があります。今後ニーズに応じた多様な移動手段を充実させる

こと、ICカードなどによる先進技術を導入すること、待ち時間の短縮など公共交通の利便性を高くするなどの方向をめざしています。

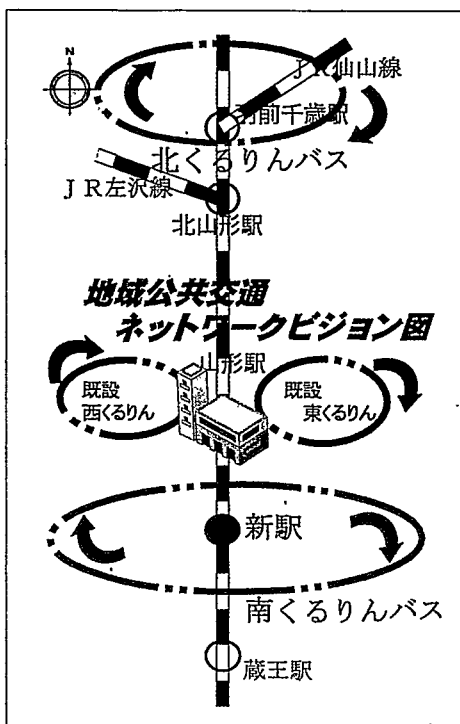
一五年後の具体的なネットワークビジョンは図のようになっています。交通軸の構築では羽前千蔵駅を結節点として北部地

区をめぐる「北くるりん」と、山形駅と蔵王駅の間にも新駅を建設して結節点とし、吉原、成沢地区をめぐる「南くるりん」を導入します。

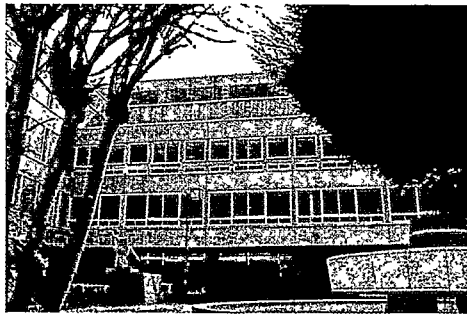
また、タクシーなどを活用

用した新しい交通サービスの導入をすすめることも盛り込まれました。

今後モデル事業として滝山地区で買物不便解消を指して「南くるりん」を、タクシー等を活用した新し



地域公共交通ネットワークビジョン図



敷地面積が1/3に(移転先となる旧県民会館)

旧山形県民会館跡地に建設する新市民会館の構想が示されました
敷地面積が現在の市民会館の三分の一となるため、地上五階地下二階となる見込みで、大ホール二二〇〇席、小ホール三〇〇〇〜四〇〇〇席を想定。

令和二一年度開館に向け始動

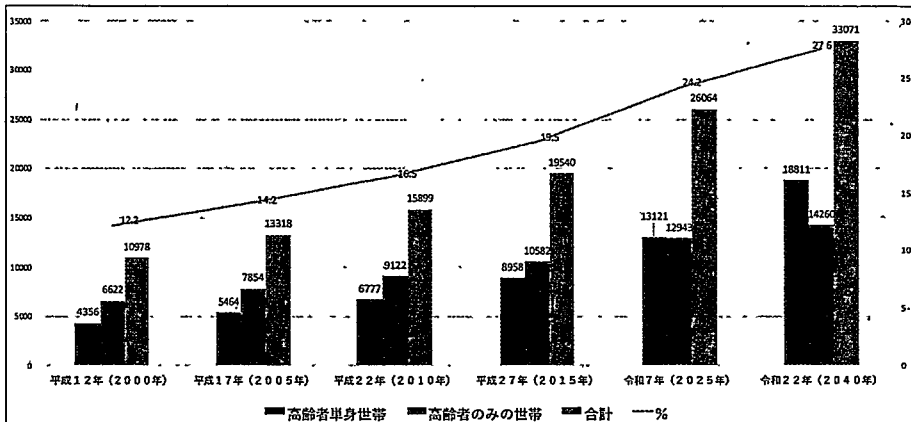
新市民会館構想示される

い交通サービスの導入を楯山、金井、村木沢の各地区で早ければ令和四年四月から実証実験を行います。

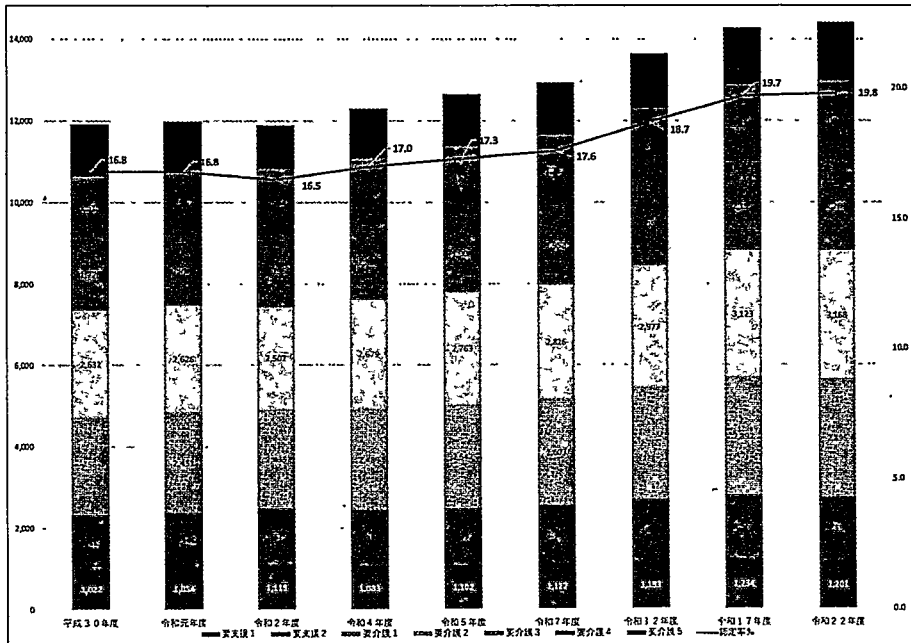
「くるりん」
市が山形交通に委託して運行する循環バスの愛称。山形駅を起点に東西二路線で運行中。

七日町に立地することになるため、市民や観光客が気軽に立ち寄り賑わいの拠点となるよう、一階部分にはラウンジとして活用することとし総事業費を一〇〇億円から一一〇億円と見込み、令和七年度から建設をはじめ令和二一年度開館の予定とします。

小ホールは地下二階におくこととなります。
そのほか市民の日常的な活動や練習の場としてスタジオなどの創造活動部門、国際ドキュメンタリー映画祭の作品を保存公開するフィルムライブラリーも設置されます。



山形市の世帯構造の変化



認定者数の推移

本市の高齢者数は、七万二千人を超えており、今後、認知症高齢者、高齢者単身世帯、高齢者のみの世帯

帯も増加すると見込まれています。
こうした中、医療や介護が必要になっても、住み慣

策定にあたっては、高齢者の生活状況や、介護者の就労状況、介護保険事業者等実態など、広くアンケート

高齢者保健福祉計画 第八期介護保険事業計画から

新介護保険料が決まる!

れた地域で安心して望む暮らしができるよう、切れ目のない在宅医療と介護の提供体制を、引き続き整えていくとした見出しのそれぞれの計画が策定されました。

ト調査を実施し、現場の声を施策に反映させるため、介護事業者等との意見交換なども行ないました。

かつては、施設への入所を希望しながらも、施設に空きがなく入所できない高齢者が多数おり、そうした待機者をどう解消するかが大きな課題でした。新しい計画では、多くの高齢者が在宅での療養・介護を望んでいるという調査結果をもとに、住み慣れた家で穏やかに暮らしている方の実例紹介や、多様な当事者のニーズに添えていくための介護従事者を増やす取り組みに力を入れて行きます。

(これらの取り組みは、動画視聴サイトYouTubeで公開していますので、ぜひご覧ください。)

この計画に基づいて進捗状況を毎年度点検・分析を行なった上で、必要に応じて施策の見直しを図ります。

また、施策に関する情報を市のホームページで市民に公表するなど、積極的な

情報提供を行なっています。

第一号被保険者の介護保険料は、年額六九、六〇〇円(月額換算五、八〇〇円)とし、中長期的な推計で、団塊の世代の全てが七五歳以上となる令和七年度は六、五八八円、介護ニーズの高い八五歳以上の人口が急速に増加することが見込まれる令和二二年度は八、四八九円(いずれも月額換算)と見込んでいます。



より身近な利便性の高い競技場に!!

「あかねヶ丘陸上競技場」

三種公認継続・山形市で管理へ

県営「あかねヶ丘陸上競技場」を山形市が県から無償で借り受け、管理運営に当たることになりました。管理運営予算として、二、八九一万円、三種公認更新事業に一億八、三三三万円が計上提案され審議、可決されました。当該施設は、市内では唯一公認競技場として主要大

会場の会場として利用されるところにも中学生・高校生の部活動を中心とした利用や各種大会や記録会等も開催され、年間約一二万人の利用者を考慮し、県との協議で継続利用となりました。第三種公認が今年四月に満了を迎えるため一年間の延長措置を受け、公認更新に係るトラック等の改修及び競技用備品の整備を行うこととなります。改修工事は九月に始め、来年四月のリニューアルオープンをめざします。

駐車場内でのイベント開催の使用料については、当局から、「県ではこれまで無料としており、市においても同様の取り扱いをしたい。」との答弁がありました。経年劣化したトラックの改修や写真判定装置などの競技備品の更新も行われることから、これまで以上に利用者に愛される施設となるようなしっかりとした運営が求められます。

今冬の除排雪費用 「10億2,600万円」を超える!

【豪雪対策の概要報告】

- 豪雪本部立ち上げ
 - ・令和2年12月20日
- 総除排雪委託業者数 96社
- 総借上除雪車数 297台
- 除排雪関連経費 (3/31現在)
 - 1,026,136,146円 (内前払金237,391,400円)
- 道路除雪状況
 - ・一斉除雪7回・山間除雪34回
 - ・路面整正、幅出し 98回
 - ・凍結防止剤散布 80回
- 人的被害(転倒など) 92人
- 道路排雪状況
 - ・車道排雪 48回
 - ・交差点排雪 12回
 - ・歩道排雪 2回
- 町内会等一斉除排雪報償金
 - ・36町内会 62回
 - 4,385,116円
- 排雪場(豪雪本部立上以降)
 - ・馬見ヶ崎川千歳橋右岸 4,250㎡ 堆雪80%
 - ・馬見ヶ崎川球技場前 9,800㎡ 堆雪55%

政務活動費支出報告書

支出番号No.

研究研修費	<input type="checkbox"/>	支出年月日	令和 3年 4 月 23日 支出						
調査旅費	<input type="checkbox"/>								
広報広聴費	<input type="checkbox"/>	支出額	¥	2	1,	2	7	9	円
要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/>								
資料作成費	<input type="checkbox"/>	支出先	山形市錦町15-68 株式会社毎日新聞山形中央専売所 代表取締役 佐藤和広						
資料購入費	<input checked="" type="checkbox"/>								
人件費	<input type="checkbox"/>								
事務所費	<input type="checkbox"/>								
通信・交通費	<input type="checkbox"/>								

支出内容	毎日新聞	令和3年4月~令和3年6月分 @3,093×3ヶ月分 = 9,279円
	日本経済新聞	令和3年4月~令和3年6月分 @4,000×3ヶ月分 = 12,000円
	合 計	21,279円

【領収書添付】○重ならないよう添付してください。
○表面のみに貼付し、不足のときは様式2を使用してください。

領 収 証

佐藤 吉夫 様 No. _____

¥21,279-

但 毎日新聞 ¥3093、日本経済新聞 ¥4000 令和3年4月、5月、6月分
入金日 2021年 4月 23日 上記正に領収いたしました とて

内訳
税抜金額
消費税額等 (%)

収入印紙

〒990-0056 山形市錦町15-68
株式会社 毎日新聞山形中央専売所
代表取締役 佐藤和広
TEL 023-642-1620
FAX 023-642-1638

この用紙は森林保全に配慮したFSC®認証/OLPを使用しています。



政務活動費支出報告書

支出番号No.

研究研修費	<input type="checkbox"/>	支出年月日	令和 3年 8月 3日 支出						
調査旅費	<input type="checkbox"/>								
広報広聴費	<input checked="" type="checkbox"/>	支出額	¥	6	4,	0	0	0	円
要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/>								
資料作成費	<input type="checkbox"/>	支出先	山形市旅籠町2-1-33 合資会社 大仁堂印刷所						
資料購入費	<input type="checkbox"/>								
人件費	<input type="checkbox"/>								
事務所費	<input type="checkbox"/>								
通信・交通費	<input type="checkbox"/>								

支出内容

市政報告書ふれあいNo. 128 2,500部印刷代 64,000円
 ニツ折 500部 × @24 (税込み) = 12,000円
 三ツ折 2,000部 × @26 (税込み) = 52,000円

【領収書添付】○番からないよう添付してください

領収証

NO.

令和 3年 8月 3日

遠藤 吉久 様

合計金額 ¥ 64,000-

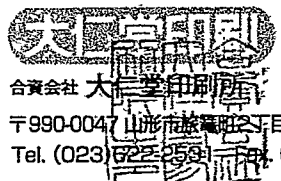
内消費税額 ¥ 税込

上記の金額正に領収いたしました。誠にありがとうございます。

但し ふれあい NO 128 2500枚 ← 2折 500枚
Tji=3折 2000枚

入金内訳

現金 0
小切手 _____
相殺 _____

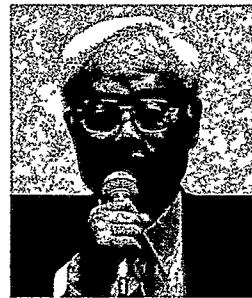


合資会社 大仁堂印刷所
 〒990-0047 山形市旅籠町2丁目1033
 Tel. (023) 622-2591 Fax. 624-2482

「国・地方の役割と分担」

コロナ禍の中での思い！

山形市議会議員 えんどう 吉久



新型コロナウイルス・連日の猛暑にさぞや市民の皆様方もご苦労されておられることと存じます。

本市でもようやくやくワクチンの接種が軌道に乗り始めました。まずは接種によって、社会的な免疫を獲得し日常を取り戻せるよう、市民の皆様方と力を合わせて頑張つて参りたいと存じます。改めて、コロナ対応のため医療・公衆衛生をはじめ各部門・分野で日夜奮闘されておられる皆様方に御礼と感謝を申し上げます！



ワクチン接種について、市では「かかりつけ医」での接種を打ち出していました。持病のある方の接種判断、予期せぬ副反応などへの対処からの判断であったと思えます。

しかし、その後一日百万回接種、七月末までの接種完了の方針が打ち出され、大規模、職域・個別の態様となったほか、優先接種者の選定やキャンセル者、医療機関間との調整など机上だけでは処理できない課題、問題点が噴出しました。そし

て、決定的なことは、肝心の「ワクチン」の確保と供給体制が整っていないことでした。



この度の状況は、人類が直面する百年に一度の災厄にして特異な現象かもしれません。社会システムが構築されている現代では、ひとたび連鎖の輪が途切れると、全体が麻痺してしまいます。

中央集権から地方分権、そして地方主権といわれて久しくなりますが、この度の一連の流れは逆行していると言わなければなりません。

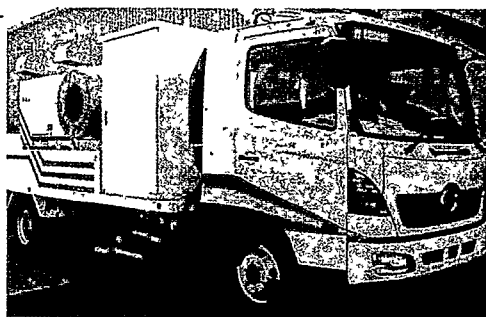
改めて、国と地方自治体の役割分担を考え「コロナに打ち勝った証」として国民、市民が真に充実した恩恵にあずかれるガバナンス体制にしていかなければなりません。ご意見、ご要望をお待ちいたしております。



▲大規模接種会場のビッグウイング

「コロナ対策・接種費用」など補正25億8千万円可決！ ワクチン接種方法等で「全員協議会集中質疑」

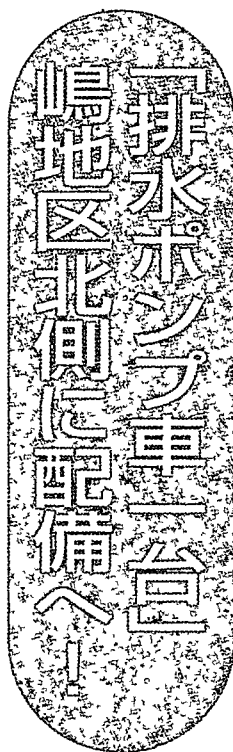
— 二人目副市長・井上氏の人事案件に同意 —



排水ポンプ車

近年多発する豪雨や昨年七月の集中豪雨を教訓とし

令和四年四月運用開始



六月定例議会は六月一七日から七月二日までの一六日間にわたって開催され、コロナ対策・ワクチン接種費用などをはじめとする補正予算二五億八千万円、印鑑条例の一部改正、緊急輸送車・高規格救急自動車の購入、排水ポンプ車の購入、仮称Q1(キューイチ)やまがたクリエイティブシティセンター(旧一小校舎の活用)工事請負契約などの事件決議を可決するとともに、副市長に井上貴至氏を選任する人事案件に同意し閉会しました。

また、全員協議会において、コロナ対策、ワクチン接種の予約方法、優先接種者の選定などについて集中質疑を行ってきました。

以下、その主な内容について、ご報告いたします。

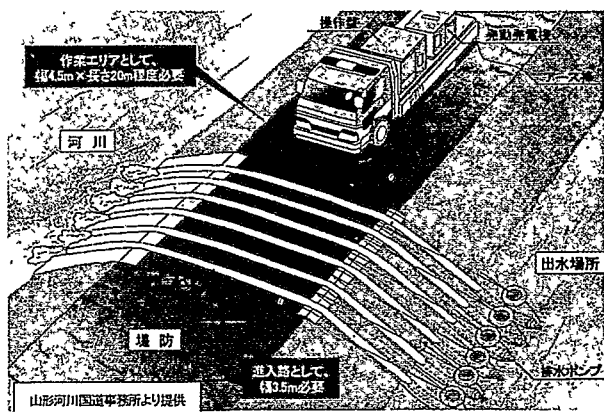
て、市所有排水ポンプ車が初めて配備されます。

排水ポンプ六台を備え、排出能力は毎分三〇トン。二五リプールであれば一五分で排水可能です。価格は四、五六五万円。

保管場所については、半径五km圏内(移動時間一〇分内)の須川沿川、大郷地区、穂積アンダー、山形駅南アンダーまでを想定して、嶋地区北側の調整池敷

地内で検討しています。

また、昨年と同様な豪雨があった場合の対策に対して、「ポンプ車の配備先については、山形河川国道事務所寒河江出張所の排水ポンプ車が志戸田地区荒神川、樫沢地区王川にそれぞれ一台配備されており、今後も床上浸水被害があった縮洗地区と志戸田地区への配備が考えられる。昨年の状況からすると四台のポンプ車があれば、内水による被害が防げると考えられるが、須川沿川の内水氾濫解析結果を踏まえ、増車台数



ポンプ車の稼働図

を検討していきたい。」との答弁がありました。

当座、国が二台、市が一台有することになり、国と連携を密にした運用が期待されます。

中心市街地 活性化の状況は？

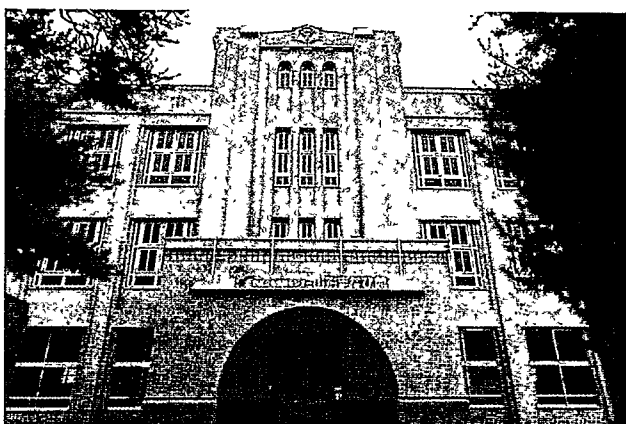
山形市では「山形市中心市街地グランドデザイン」に基づき、活性化すべき機能の誘導を図るゾーニング設定や一五の要素からなる様々な戦略プロジェクトを手がけています。

その中から、旧第一小学校（現まなび館）を活用したQ1（キューイチ）事業と旧大沼デパートの現状をご報告いたします。

Q1事業の経過と概要

山形市では2017年に「ユネスコ創造都市ネットワーク」に映画分野で加盟認定を受けたことを契機として映像文化、音楽、食、伝統工芸など本市の多彩な文化の創造性や地域資産を活用することにより、産業や観光等の活性化を図り、持続可能な都市の発展をめざすこととしました。

Q1プロジェクトは、創造都市やまがたの拠点施設



中心市街地活性化の一翼を担う

として、旧第一小学校校舎をリノベーションし再活用

する事業です。

今議会で、このリノベーション工事一式、総額九億二、六七五万円の議案を可決しました。

本年度は未整備である二、三階を含む施設全体の改修工事やエレベーターの設置工事等を実施し併せてテナント誘致活動を行い、来年度前半で外構、テナント工事を経て九月にオープン予定です。

諸室計画は、

一階・市の食文化を体感できる飲食店や物販、文化財展示室、紅花文庫

二階・映像系オフィス、オフィス、飲食店

三階・オフィス、シェアオフィス、オープンアトリエ

地下・交流ルーム、創造都市やまがたPRコーナーとされています。

駐車場は、周辺民間駐車場の借り上げなどの協力を依頼している状況です

旧大沼デパートの現状と今後の方向について

現在、財団法人山形市都市振興公社が所有している「旧大沼デパート」について活用策と問題点について質疑、議論しました。

問題点は何か！

「1」所有者が公社ではあるものの、動産が搬出されておらず建物の引き渡しが必要とされていない。このため、所有者であるが、使用制限がかかっている。かつ、動産の所有権放棄の「覚書」の締結の目処が立っていない。

「2」当座、通電するための分電盤設置など一億円相当が見込まれる。

「3」建物全体が老朽化し、使用するには大規模な修繕が不可欠である。

このため、
①すべてのフロア

を修繕し活用する。②部分的に修繕し、一階、二階など限定して活用する。③内部の修繕はせず、軒先だけの活用をする。④建物を解体し広場として活用する。などを検討するとともに併せて済生館、南隣の横田ビルも含めた周辺エリア一帯について公民連携による利活用策を進めていくこととし、サウンディング型市場調査も実施していくこととしました。



未だ残る動産の数々



生活困窮者に月額最大
10万円の生活資金

新型コロナウイルス感染症の長期化によって収入が減少し生活困窮となつている世帯に、月額最大10万円を三ヶ月間支給する制度を可決しました。

支給対象となるのは国の※特例貸付が限度額に達して収入、資産要件に合致し、かつハローワークで求職活動を行うことが必要です。

社会福祉協議会で八月三十一日まで受け付け、それぞれ月額、単身世帯六万円、二人世帯八万円、三人以上の世帯10万円が支給されます。

緊急小口、総合支援資金の貸付は、令和二年度だけで一、八〇〇件に達してお

り、そのうち約三〇〇世帯が該当すると見込んでいます。

特例貸付自体を周知することがまだまだ必要であり、困窮状態から抜け出ることにつながるよう実効性が求められます。

※特例給付

《緊急小口資金》

個人事業主などの特例二

〇万円、

その他一〇万円以内

《総合支援資金》

貸付限度額二人以上月二

〇万円、

単身一五万円

いずれも無利子、保証人

不要であり、償還時になお

所得の減少が続く住民税非

課税世帯の償還は免除する

ことができることになって

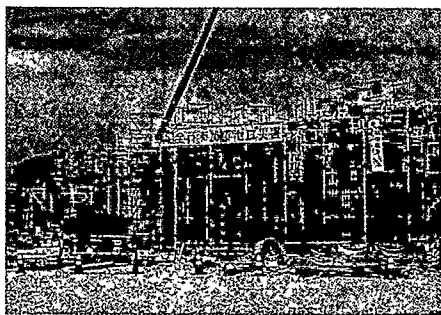
います。

南部「児童遊戯施設」
完成・供用が遅れます！

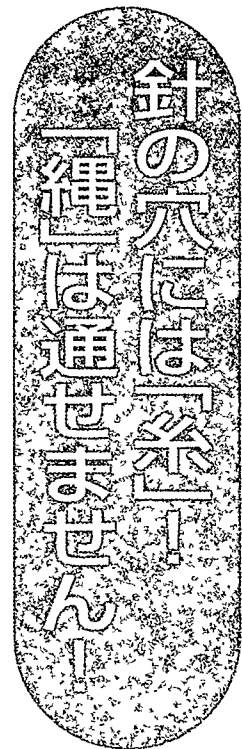
市南部への児童遊戯施設は基礎工事が終了し、現在一階躯体工事が施工されています。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症による設計業務で対面協議が行えなかつたこと、鉄骨の納品が遅れたことで工程の遅れが生じることが報告されました。

当初、完成は本年一二月としていましたが、来年二月となり、供用開始となるのは令和四年三月一日から同年四月一八日になると見込んでいます。



完成が遅れる遊戯施設



全員協議会の議論から

五月二八日に開催された新型コロナウイルス感染症にかかると「全員協議会」で冒頭の発言を行いました。

ことの発端は市が五月二日から開始した一般高齢者向けワクチンの予約方法でした。

ているのであれば、何故一気に六五歳以上を対象としたものか。

例えば、この度は対象を八〇歳以上にするとか、社会的により優先する皆さんに割り当てるとか、ほかの方法が考えられたのではないかと強く思います。

六五歳以上の対象者は72,000人に対してワクチンの割り当ては22,000人分。しかも電話、Web半々の割り当て、かつかかりつけ医院によつてはコールセンターでの電話予約のみどころもあり、Webに疎い高齢者は電話に殺到することとなりました。

これらの発言を受け、その後、年齢ごとに一日単位の受付方法に変更するなどの措置が講じられました。命と健康に順番はありません。市民全員が同じです。

この間、市からの発信は「ワクチンの量は十分確保してあるので、あわてず予約して欲しい。」のみ。肝心のワクチンが限られ

せん。

政務活動費支出報告書

支出番号No.

研究研修費	<input type="checkbox"/>	支出年月日	令和 3年 10 月 6日 支出							
調査旅費	<input type="checkbox"/>									
広報広聴費	<input checked="" type="checkbox"/>	支出額	¥	1	2	0,	9	2	3	円
要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/>									
資料作成費	<input type="checkbox"/>	支出先	山形市銅町1-1-5 中央印刷株式会社							
資料購入費	<input type="checkbox"/>									
人件費	<input type="checkbox"/>									
事務所費	<input type="checkbox"/>									
通信・交通費	<input type="checkbox"/>									

支出内容

市政報告書No.57 印刷代
 @30.33 × 3,000部 + 消費税 = 100,089円
 封入・封緘作業 NO.57及び NO.128、4,500部 (消費税込み) 20,834円

【領収書添付】○重ならないよう添付してください。
 ○表面のみに貼付し、不足のときは様式2を使用してください。

領 収 証

No. 33704

遠藤 吉久 様

2021年10月6日

金額	千	百	拾	万	千	百	拾	円
		7	1	20	9	2	3	—

内	品代金	円
訳	消費税額	円

現金 _____
 小切手 _____
 手形 _____
 振込 _____
 相殺 _____

但し 請求書 No. 57
 封入・封緘作業
 500部 @ 421 市政報告書 No. 57
 上記の金額正に領収致しました 3000部
 @ 33

中央印刷株式会社
 〒990-0051 山形市銅町1-5
 TEL 0237-531-5533(代)



取扱者印

えんどう 吉久市政報告

発行責任者 遠藤吉久 山形市落合町403番地 電話641-2783 FAX641-2785

HP <http://www.endo-yoshihisa.jp> E-mail y-endo@endo-yoshihisa.jp

まずは、ワクチン接種で 集団免疫の獲得へ!



市民の皆様の生命と健康を守る!!

「命と健康」は平等! 守るは行政の責務!

新型コロナウイルス対応のため医療・公衆衛生をはじめ各部門・分野で日夜奮闘されておられる皆様方に御礼と感謝を申し上げます!

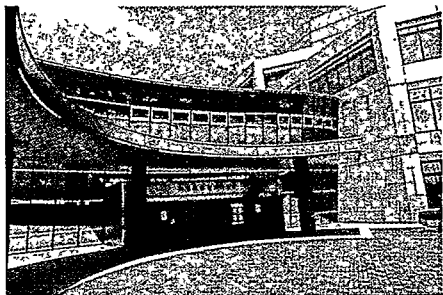
コロナウイルスワクチンの接種がすすんでいます。

これまで、会派の仲間とともに51回の独自の対策会議を重ねながら、接種体制の整備や生活支援、再建策などについて、市民の皆さんからのご要望や情報をもとに市当局、関係機関に要請、働きかけをして参りました。

まずは、ワクチン接種で集団免疫を獲得し、日常を取り戻すべく一日も早い終息を願います。

それまで、市民の皆様とともに力を合わせて頑張りたいと存じます。

引き続き、ご意見、ご要望をお寄せくださるようお願いいたします。



集団接種会場のビッグウィング

5月28日のコロナウイルス感染症「全員協議会」で、12日から開始した「ワクチン接種予約」方法について、市民の皆さんに競争させ大混乱を招いたことについて、反省と是正を求め強く発言しました。

65歳以上の対象者7万2千人に対して、用意されたワクチンは2万2千人分。予約できる人は30%。コールセンターへの電話予約のみの医院もあり、電話が集中することは明白でした。当初の認識が甘く、「制度設計」が間違っていたのです。

これを受け、以降の予約は「一歳ごとの一日単位」に変更になりました。

「命と健康」を守るのが行政の責務であり、ましてや、競争させるようなことは絶対にあってはなりません。

「踏切道」の改善 安全対策!!

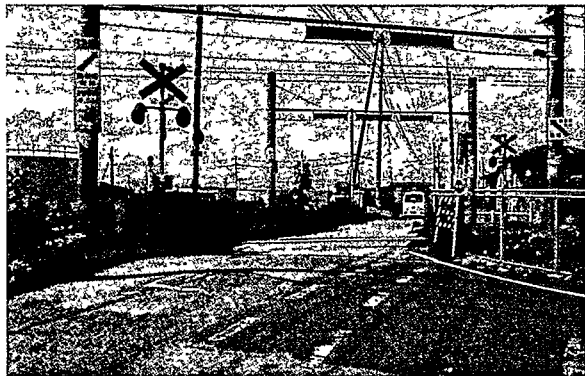
— 交通量調査費等 (十文字西踏切) 470万円を計上!!! —

奥羽線新幹線通行「踏切道」も粘り強く改善運動を継続!

まずは在来線の「十文字西」踏切道を
突破口にほかにも波及を図る!

6月定例議会で、楯山地区の「十文字踏切道」にかかる「交通量調査費委託料4,715千円」を可決しました。

これは、「現段階ではすぐに改修・改善につながるというものではありませんが、JR東日本から示されている踏切道の統廃合・立体化が何故できないかの強力な資料とし、将来の改善・改修につなげていく。」として、提案されました。



調査する十文字西踏切

質疑で、「地域の強い要望があるなか、具体的に交通量調査まで至らなかった。相当の期待があると思うが、当局としてどう捉え今後どのようにすすめていくのか。また、この度の踏切道以外の箇所、新幹線の通る奥羽線については、どのように考えているのか。」との問いに対して、

「踏切道改良促進法の改正に伴い、法指定を受けた場合、重点配分される補助の対象となることから、この法指定に向け交通量調査及び踏切道基礎調査等をすすめるものである。また、市としては一つでも多くの踏切道を改善したいと考えており、児童生徒の通行量が多く、復員が狭い十文字西踏切を交渉の

突破に向けた第一弾として行い、その取り組みで得たノウハウを次に活かしていきたいと考えている。JR東日本は山形新幹線を整備する際、将来的に新幹線が通過する踏切は無くす旨の約束を県と交わしていることもあり、まずは在来線から交渉を始め、残りの踏切も粘り強く進めていきたい。」との答弁がありました。

なお、JR東日本と県との間で、踏切廃止についての文書はありません。

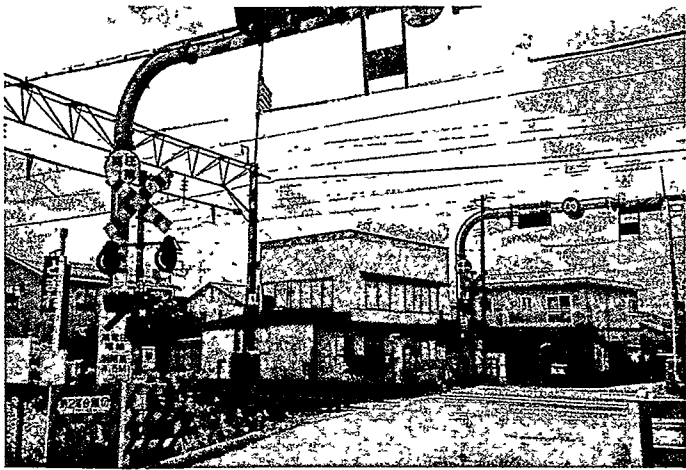
§ 踏切道改良促進法

踏切道の改良を促進することにより、交通事故の防止及び交通の円滑化に寄与することを目的に昭和36年に制定。4月1日の改正では、

- ①踏切道改良計画事業の個別補助制度が創設され、国の負担又は補助の割合の特例を規定
- ②踏切道の改良の方法として、踏切道の平準化、踏切道密接関連道路の改良及び駅の出入り口の新設などが改正、追加されました。

見守り隊・ボランティアの皆さん
連日大変ご苦労様です!!
— 第二落合踏切 —

子どもたちをはじめ、多くの皆さんが通行する第二落合踏切は、見守り隊、ボランティアの皆さんのご協力で安全が図られています。大変ご苦労様に存じます。



写真上 第二落合踏切 下 青柳踏切

時速90kmで通過する新幹線が通る踏切は、基本的に閉鎖したいJR東日本の強い意向で、拡幅やこれらに伴う改善がなされない状況が続いています。

地域からも市当局に毎年、再三にわたって要望活動を展開していますが、市当局とJR東日本との話し合いも平行線をたどっています。

この度の交通量調査の予算措置は、地域の強い要望が「なんとか風穴をあけたい」という具体的な取り組みになったものです。

新幹線の通っていない在来線ではありますが、これらの取り組みの積み重ねで、新幹線の通る奥羽線にも波及していくことを期待したいと思います。

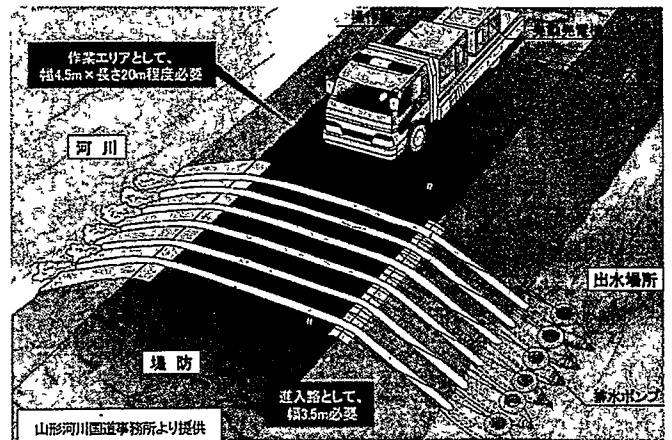
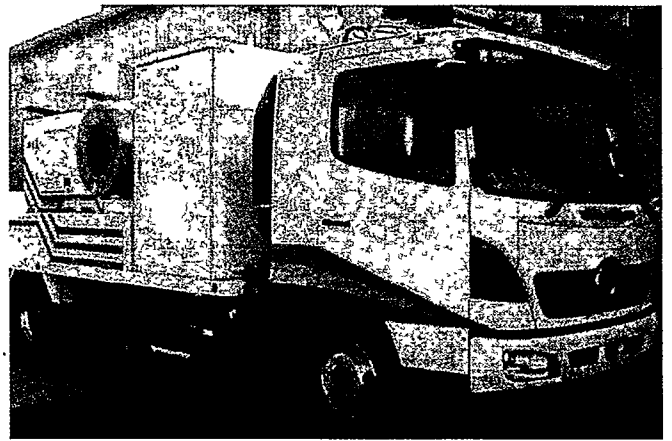
今後も皆様方とともに粘り強く、継続した取り組みを引き続きして参ります。

現行各踏切については、出来る限りの安全対策を講じていきます。!

排水ポンプ車 嶋地区に配備!

昨年7月の豪雨をはじめ、近年多発する豪雨を教訓として市所有排水ポンプ車が初めて配備されます。

排水ポンプ6台を備え、排出能力は毎分30トン。25立方メートルであれば、15分で排水可能です。価格は4,565万円。



写真上 排水ポンプ車 下 稼働イメージ図

配備場所は、半径5km、移動時間10分の須川沿川、大郷地区、穂積アンダー、山形駅南アンダーまでの稼働を想定し、嶋地区調整池に配備し9月定例議会に2,100万円を計上し格納庫を建設します。

当面、国と合わせ3台で稼働することとなりますが、今後の状況によって増車も検討します。

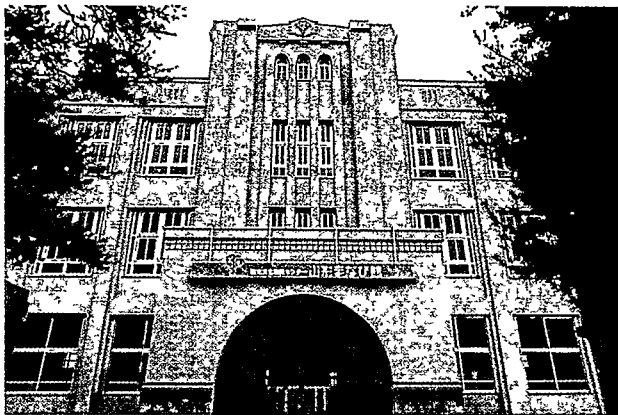
中心市街地活性化の状況

Q1プロジェクト・旧大沼デパート

動き出す大型プロジェクト

山形市では「山形市中心市街地グランドデザイン」に基づき、活性化すべき機能の誘導を図るゾーニング設定や15のプロジェクトからなる様々な戦略プロジェクトを手がけています。

その中から、旧第一小学校（現まなび館）を活用したQ1（キューイチ）事業と大沼デパートの状況をご報告いたします。



中心市街地活性化の一翼を担うまなび館

Q1事業の経過と概要

2017年に「ユネスコ創造都市ネットワーク」に映画分野で加盟認定を受けたことを受け、本市の多彩な文化の創造性や地域資産を活用することにより、持続可能な都市の発展をめざすこととしました。

Q1プロジェクトは、創造都市やまがたの拠点施設として、旧第一小学校校舎をリノベーションし再活用する事業です。

総事業費9億3千万円で未整備の2、3階を含む施設全体の改修工事を行い、来年9月にオープン予定です。

旧大沼デパートについて

残動産、旧所有者から譲渡で合意

前所有者の動産が残り引渡しがなされていませんでしたが、8月12日に覚書を締結し「引渡」が完了しました。

これを受け、さらに詳しく内部を調査するとともに、活用、修繕方法や動産の処分方法を決めていくことになりました。

今後の進め方は、

- (1) 当面、通電するための分電盤設置などに1億円相当が見込まれること。
- (2) 建物全体が老朽化し、利活用するためには大規模修繕が不可欠であること。

などの課題があり、このため

- ①すべてのフロアを修繕し使用する。
- ②部分的に修繕し、限定使用する。
- ③修繕はせず、軒先のみの使用とする。
- ④建物を活用し広場として活用する。

などを検討するとともに、周辺を含めたエリア的利活用法を探ることになりました。



都市計画道路の部分完成など活性化策進行

ふれあい

第128号

2021(令和3)年

6月定例市議会

報告号

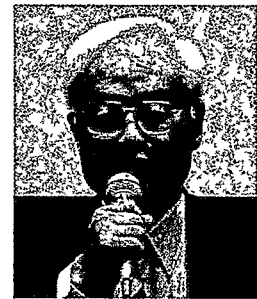
山形市議会 TEL 641-2793 FAX 641-2795

【発行責任者】 山形市旅籠町 2-3-25 山形市議会内 【市民連合山形市議団】 TEL 641-1212 内線 721

「国・地方の役割と分担」

コロナ禍の中での思い！

山形市議会議員 えんどう 吉久



新型コロナウイルス・連日の猛暑にさぞや市民の皆様方もご苦労されておられることと存じます。

本市でもようやくワクチンの接種が軌道に乗り始めました。まずは接種によって、社会的な免疫を獲得し日常を取り戻せるよう、市民の皆様方と力を合わせて頑張つて参りたいと存じます。改めて、コロナ対応のため医療・公衆衛生をはじめ各部門・分野で日夜奮闘されておられる皆様方に御礼と感謝を申し上げます！



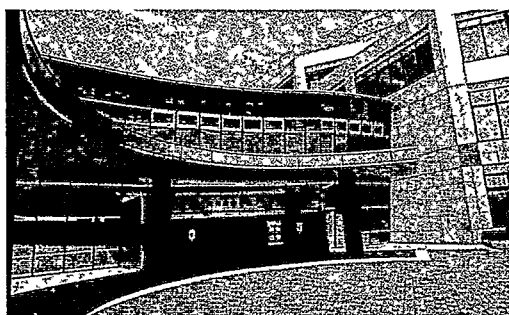
ワクチン接種について、市では「かかりつけ医」での接種を打ち出していました。持病のある方の接種判断、予期せぬ副反応などへの対処からの判断であったと思えます。

しかし、その後一日百万回接種、七月末までの接種完了の方針が打ち出され、大規模、職域・個別の態様となったほか、優先接種者の選定やキャンセル者、医療機関との調整など机上だけでは処理できない課題、問題点が噴出しました。そし



て、決定的なことは、肝心の「ワクチン」の確保と供給体制が整っていないことでした。

この度の状況は、人類が直面する百年に一度の災厄にして特異な現象かもしれません。社会システムが構築されている現代では、ひとたび連鎖の輪が途切れると、全体が麻痺してしまいます。中央集権から地方分権、そして地方主権といわれて久しくなりますが、この度の一連の流れは逆行していると言わなければなりません。



▲大規模接種会場のビッグウイング

改めて、国と地方自治体の役割分担を考え「コロナに打ち勝った証」として国民、市民が真に充実した恩恵にあずかれるガバナンス体制にしていかなければなりません。ご意見、ご要望をお待ちいたしております。

「コロナ対策・接種費用」など補正25億8千万円可決！ ワクチン接種方法等で「全員協議会集中質疑」

— 二人目副市長・井上氏の人事案件に同意 —



排水ポンプ車

近年多発する豪雨や昨年七月の集中豪雨を教訓とし

令和四年四月運用開始

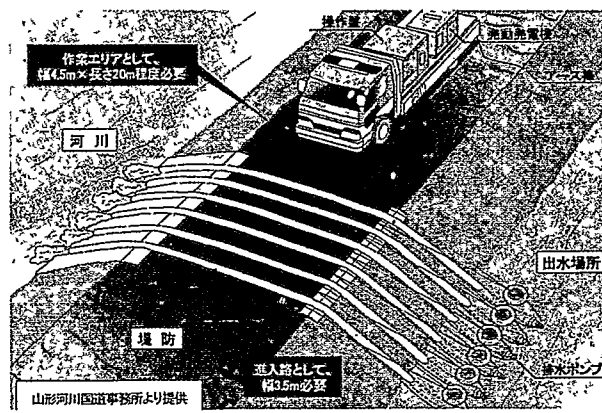


六月定例議会は六月一七日から七月二日までの一六日間にわたって開催され、コロナ対策・ワクチン接種費用などをはじめとする補正予算二五億八千万円、印鑑条例の一部改正、緊急輸送車・高規格救急自動車の購入、排水ポンプ車の購入、仮称Q1(キューイチ)やまがたクリエイティブシティセンター(旧一小校舎の活用)工事請負契約などの事件決議を可決するとともに、副市長に井上貴至氏を選任する人事案件に同意し閉会しました。

また、全員協議会において、コロナ対策、ワクチン接種の予約方法、優先接種者の選定などについて集中質疑を行ってきました。以下、その主な内容について、ご報告いたします。

て、市所有排水ポンプ車が初めて配備されます。排水ポンプ六台を備え、排出能力は毎分三〇トン。二五ダプールであれば一五分で排水可能です。価格は四、五六五万円。保管場所については、半径五km圏内(移動時間一〇分内)の須川沿川、大郷地区、穂積アンダー、山形駅南アンダーまでを想定して、鳴地区北側の調整池敷

地内で検討しています。また、昨年と同様な豪雨があった場合の対策に対して、「ポンプ車の配備先については、山形河川国道事務所寒河江出張所の排水ポンプ車が志戸田地区荒神川、樫沢地区王川にそれぞれ一台配備されており、今後も床上浸水被害があった鮎洗地区と志戸田地区への配備が考えられる。昨年の状況からすると四台のポンプ車があれば、内水による被害を防げると考えられるが、須川沿川の内水氾濫解析結果を踏まえ、増車台数



ポンプ車の稼働図

を検討していきたい。」との答弁がありました。当座、国が二台、市が一台有することになり、国と連携を密にした運用が期待されます。

中心市街地 活性化の状況は？

山形市では「山形市中心市街地グランドデザイン」に基づき、活性化すべき機能の誘導を図るゾーニング設定や一五の要素からなる様々な戦略プロジェクトを手がけています。

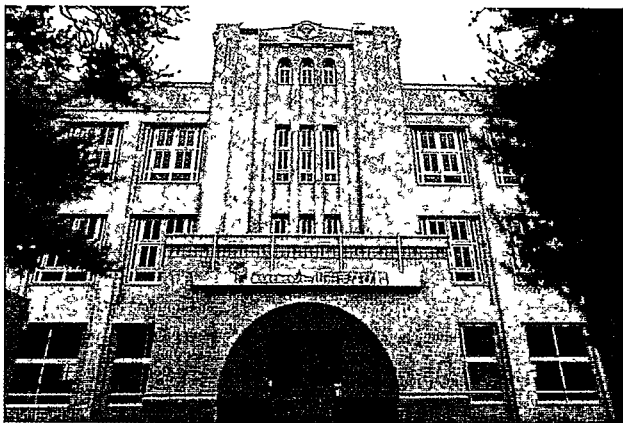
その中から、旧第一小学校（現まなび館）を活用したQ1（キューイチ）事業と旧大沼デパートの現状をご報告いたします。

Q1事業の経過と概要

山形市では2017年に「ユネスコ創造都市ネットワーク」に映画分野で加盟認定を受けたことを契機として映像文化、音楽、食、伝統工芸など本市の多彩な文化の創造性や地域資産を活用することにより、産業や観光等の活性化を図り、持続可能な都市の発展をめざすこととしました。

Q1プロジェクトは、創造都市やまがたの拠点施設

として、旧第一小学校校舎をリノベーションし再活用



中心市街地活性化の一翼を担う

する事業です。

今議会で、このリノベーション工事一式、総額九億二、六七五万円の議案を可決しました。

本年度は未整備である二、三階を含む施設全体の改修工事やエレベーターの設置工事等を実施し併せてテナント誘致活動を行い、来年度前半で外構、テナント工事を経て九月にオープン予定です。

諸室計画は、

一階・市の食文化を体感できる飲食店や物販、文化財展示室、紅花文庫

二階・映像系オフィス、オフィス、

飲食店

三階・オフィス、

シェアオフィス、オープンアトリウム、創造都市やまがたPRコーナーと

しています。地下・交流ルーム、創造都市やまがたPRコーナーと

駐車場は、周辺民間駐車場の借り上げなどの協力を依頼している状況です。

旧大沼デパートの現状と今後の方向について

現在、財団法人山形市都市振興公社が所有している「旧大沼デパート」について活用策と問題点について質疑、議論しました。

問題点は何か！

「1」所有者が公社ではあるものの、動産が搬出されておらず建物の引き渡しがなされていない。このため、所有者であるが、使用制限がかかっている。かつ、動産の所有権放棄の「覚書」の締結の目処が立っていない。

「2」当座、通電するための分電盤設置など一億円相当が見込まれる。

「3」建物全体が老朽化し、使用するには大規模な修繕が不可欠である。

このため、
①すべてのフロア

を修繕し活用する。②部分的に修繕し、一階、二階など限定して活用する。③内部の修繕はせず、軒先だけの活用をする。④建物を解体し広場として活用する。などを検討するとともに併せて済生館、南隣の横田ビルも含めた周辺エリア一帯について公民連携による利活用策を進めていくこととし、サウンディング型市場調査も実施していくこととしました。



未だ残る動産の数々



生活困窮者に月額最大
一〇万円の生活資金

新型コロナウイルス感染症の長期化によって収入が減少し生活困窮となつている世帯に、月額最大一〇万円を三ヶ月間支給する制度を可決しました。

支給対象となるのは国の※特例貸付が限度額に達して収入、資産要件に合致し、かつハローワークで求職活動を行うことが必要です。

社会福祉協議会で八月三十一日まで受け付け、それぞれ月額、単身世帯六万円、二人世帯八万円、三人以上の世帯一〇万円が支給されます。

緊急小口、総合支援資金の貸付は、令和二年度だけで一、八〇〇件に達してお

り、そのうち約三〇〇世帯が該当すると見込んでいます。

特例貸付自体を周知することがまだまだ必要であり、困窮状態から抜け出ることにつながるよう実効性が求められます。

※特例給付

《緊急小口資金》

個人事業主などの特例二〇万円、

その他一〇万円以内

《総合支援資金》

貸付限度額二人以上月二〇万円、

単身一五万円

いずれも無利子、保証人不要であり、償還時になお所得の減少が続く住民税非課税世帯の償還は免除することができるとなっています。

南部「児童遊戯施設」完成、供用が遅れます！

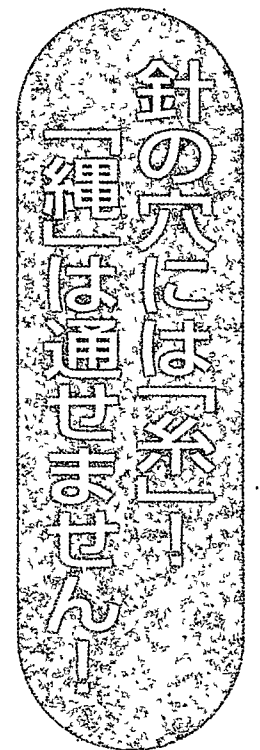
市南部への児童遊戯施設は基礎工事が終了し、現在一階躯体工事が施工されています。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症による設計業務で対面協議が行えなかつたこと、鉄骨の納品が遅れたことで工程の遅れが生じることが報告されました。

当初、完成は本年一二月としましたが、来年二月となり、供用開始となるのは令和四年三月一日から同年四月一八日になると見込んでいます。



完成が遅れる遊戯施設



— 全員協議会の議論から —

五月二八日に開催された新型コロナウイルス感染症にかかると「全員協議会」で冒頭の発言を行いました。

ことの発端は市が五月二日から開始した一般高齢者向けワクチンの予約方法でした。

六五歳以上の対象者は72,000人に対してワクチンの割り当ては22,000人分。しかも電話、Web半々の割り当て、かつかかりつけ医院によってはコールセンターでの電話予約のみどころもあり、Webに疎い高齢者は電話に殺到することとなりました。

この間、市からの発信は「ワクチンの量は十分確保してあるので、あわてず予約して欲しい。」のみ。

肝心のワクチンが限られ

ているのであれば、何故一気に六五歳以上を対象としたものか。

例えば、この度は対象を八〇歳以上にするとか、社会的により優先する皆さんに割り当てるとか、ほかの方法が考えられたのではないかと強く思います。

「針の穴に糸は通せても、踵は通せない。制度設計に問題があった。良識のある市民の皆さんからは、整然とした順番体制を望む。」との声が多く寄せられた。

これらの発言を受け、その後、年齢ごとに一日単位の受付方法に変更するなどの措置が講じられました。命と健康に順番はありません。

市民全員が同じです。

政務活動費支出報告書

支出番号No.

研究研修費	<input type="checkbox"/>	支出年月日	令和 3年 11 月 12日 支出						
調査旅費	<input type="checkbox"/>								
広報広聴費	<input type="checkbox"/>	支出額	¥	2	9,	6	0	0	円
要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/>								
資料作成費	<input type="checkbox"/>	支出先	山形市錦町15-68 株式会社毎日新聞山形中央専売所 代表取締役 佐藤和広						
資料購入費	<input checked="" type="checkbox"/>								
人件費	<input type="checkbox"/>								
事務所費	<input type="checkbox"/>								
通信・交通費	<input type="checkbox"/>								

支出内容

毎日新聞
 令和3年7月～令和3年10月分
 @3,400×4カ月分 = 13,600円
 日本経済新聞
 令和3年7月～令和3年10月分
 @4,000×4カ月分 = 16,000円
 合計 29,600円

【領収書添付】○重ならないよう添付してください。
 ○表面のみに貼付し、不足のときは様式2を使用してください。

領 収 証

遠藤 吉久

様 No. _____

¥29,600

但 毎日紙400、日経紙5000、A小7月～10月分の新聞代として
 入金日 2021年 11月 12日 上記正に領収いたしました

収 入 印 紙	内訳	_____
	税抜金額	_____
	消費税額等 (%)	_____

この用紙は森林保元に配慮したFSC®認証パルプを使用しています。

〒990-0056 山形市錦町15-68
 株式会社 毎日新聞山形中央専売所
 代表取締役 佐藤和広
 TEL 023-642-1620
 FAX 023-642-1638



政務活動費支出報告書

支出番号No.

研究研修費	<input type="checkbox"/>	支出年月日	令和 3年 11月 18日 支出					
調査旅費	<input type="checkbox"/>							
広報広聴費	<input checked="" type="checkbox"/>	支 出 額	¥	6	4,	4	0	円
要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/>							
資料作成費	<input type="checkbox"/>	支 出 先	山形市旅籠町2-1-33 合資会社 大仁堂印刷所					
資料購入費	<input type="checkbox"/>							
人件費	<input type="checkbox"/>							
事務所費	<input type="checkbox"/>							
通信・交通費	<input type="checkbox"/>							

支出内容

市政報告書ふれあいNo.129 2,500部印刷代 64,400円

領 収 証

NO.

令和 3年 11月 18日

遠藤吉久

様



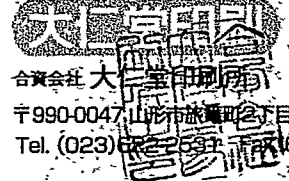
¥ 64,400-

内消費税額 税込

上記の金額正に領収いたしました。誠にありがとうございます。

但し、ふれあい NO.129 2500部

入金内訳	
現金	0
小切手	
相殺	



合資会社 大仁堂印刷所
〒990-0047 山形市旅籠町合目1の33
Tel. (023) 624-2482

ふれあい

第 129 号

2021(令和3)年

9月定例会

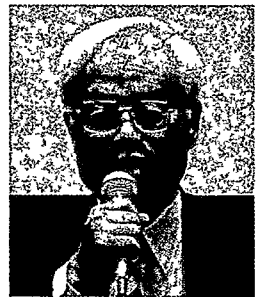
報告号

山形市総合町 405

TEL 641-2788

FAX 641-2785

発行責任者 山形市総合町 2-9-25 山形市議会内 市民連合山形市新聞 TEL 641-2112 内線 721



新型コロナウイルス感染者も減少し、少しは平穏が戻ってきました。

この間、医療関係者はじめ、関連の業務に携わっておられる皆様方には、本当にご苦労様です。心から感謝申し上げます。

市民の皆様方におかれましては、引き続き制限、制約のある生活になるかもしれませんが、三回目の接種や経口治療薬さらには日本で開発されるワクチンに期待し、第六波やインフルエンザに留意しながら、日常を取り戻して参りましょう。

第六波に備えつつ

日常を取り戻そう！

山形市議会議員 えんどう 吉久

変わる街並み

一〇月八日全員協議会が招集され、「料亭千歳館」を公園に整備していくことが示されました。(四ページに関連記事)。計画では、国登録有形文化財である本館ほか二つの建物を歴史的建造物として遺して市に寄贈し、土地については市が買収するとしています。

周辺一帯、地区とマッチングした整備を

協議会では、都市計画道路「諏訪町・七日町線」の進捗推進、寺町地区、山形銀行本店改築に

も合わせた七日町三丁目地区、そして旧大沼デパート跡地開発と一体、連動した整備を求めました。

大正 昭和の回廊に響く 建造物をどう遺す

また、これまでも老舗料亭、旅館、漬物店が廃業しマンションなどが建設されてきています。

私と公の利益の調整をいかに図っていくべきか難しい課題ではあります。が、今後とも市民の皆さんと議論を積み重ねて参りたいと存じます。

なお、この度の公園整備が完了すれば、市街化区域内の公園空白地域

は、「大野目」「鉄砲町」の二地区となります。

ハウジングインク型調査とは？

また、利活用提案の募集に向けて、民間事業者との対話を行う「サウンディング型市場調査」を実施します。

これは、公的不動産の利活用や公共事業への民間活力の導入等の検討にあたり、民間事業者と対話を通して広く意見や提案を求めることにより、実現性が高く事業効率率のよい公募条件を把握する市場調査のことを言います。

「コロナ対策・事業継続給付金」など8億5千万円補正可決！

「西山形小学校・(仮)道の駅蔵王」工事請負契約締結

— 令和2年度一般会計ほか各会計決算を認定 —

山形市では国に従い、すでに三歳以上の児童への保育料を無料としています。さらに三歳児未満児の負担軽減措置をとることで、県が負担軽減に取り組むとしたことから、安心して子育てできる環境を整えるためです。

その標準時間保育の「保育料」は表のようになります。但し、年収三六〇万円

未満の「ひとり親」又は「障害児世帯」の保育料はゼロ円となります。

所得税九万七千円以上の家庭と未満の家庭では、保育料に大きく差が出来ることから、「見直しが必要ではないか。」との質疑に対し「県の措置は今のところ令和六年度までの措置となっていることから、推移を見極めて検討する。」としています。

保育料負担「軽減へ！」

令和三年九月分から適用 —
● 厚生委員会

九月定例議会は九月九日から一〇月一日までの二三日間にわたって開催され、希望する一二歳以上の市民が一月末までに二回の接種が完了するための経費及び経済活動縮小による事業者を支援するための経費計八億五千万円、保育料負担軽減事業八千九百万円、この春の凍霜害対策費一六百万円などの補正予算及び西山形小学校校舎改築請負契約(一億二七百万円)、(仮称)道の駅蔵王建設事業請負契約締結(一三億七千七百万円)などの事件決議、さらには令和二年度にかかる、一般会計、各企業会計決算などを可決、認定し閉会しました。

以下、その主な内容について、ご報告いたします。

《軽減後の保育料負担区分表》

世帯区分		従来の保育料	軽減後の保育料
生活保護・非課税		0円	0円
年収 300万円未満	市町村民税 均等割課税	9,200円	0円
	所得割 15,000円未満	12,700円	2,950円
	所得割 48,600円未満	16,900円	5,900円
年収 470万円未満	所得割 97,000円未満	20,900円	5,900円
	所得割 97,000円以上	35,600~56,700円	軽減がないため、 従来と同じ

国民健康保険の 傷病手当金の活用を！

国保決算認定の質疑から

国民健康保険税率は東北
県庁所在都市でも高い方
ですが、その理由として
①人口あたりの医療機関が
多く受診しやすい環境にあ
ること

②国・県から交付される公
費額が違うことが考えら
れること。

③また、コロナによる受診
控えと、感染予防のための
マスク、手指消毒の徹底で
他の感染症が広がってい
ないことにより、保険給付費
が減少していること。

などが報告されました。

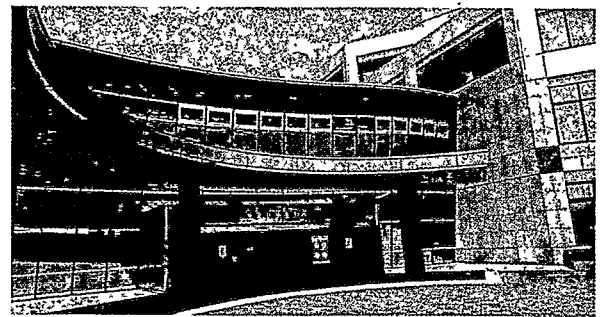
また、新型コロナウイルス
または感染を疑われて働け
なかつた被用者対象の傷病
手当金について、実績は令
和二年度で「一人」だけで
あつたことが報告されまし
た。感染者数からしてあま

りに少ないし、後からも請
求は可能であることから、
「お知らせ」を対象者に直
接届くように要請しまし
た。

《福祉灯油購入費等 給付事業》

一〇月一日現在、市民税
非課税世帯のうち①高齢世
帯②障がい者世帯③ひとり
親世帯を対象に、本年も灯
油購入費五千円が給付され
ます。

一月上旬に対象者に通
知され、中旬に受付開始、
下旬から順次支給となりま
す。



会場となるビッグウィング

《タブレット端末の 持ち帰り開始》

小中学校の授業で活用さ
れ始めているタブレット端
末について、家庭学習のた
めの「持ち帰りルール」が
整ったため、「持ち帰り」
が始まります。

長時間使用での健康被害
やパスワードの管理など懸
念される様々な課題につい
て、小学生、中学生それぞ
れの接続制限時間の設定、
正しく使用するためのルー
ルブックの配付を行い、安
全に快適に活用できる対応
を図っていきます。

「成人の祝賀式」 令和4年4月30日(土)開催へ！

名称変更も検討へ

● 産業文教委員会

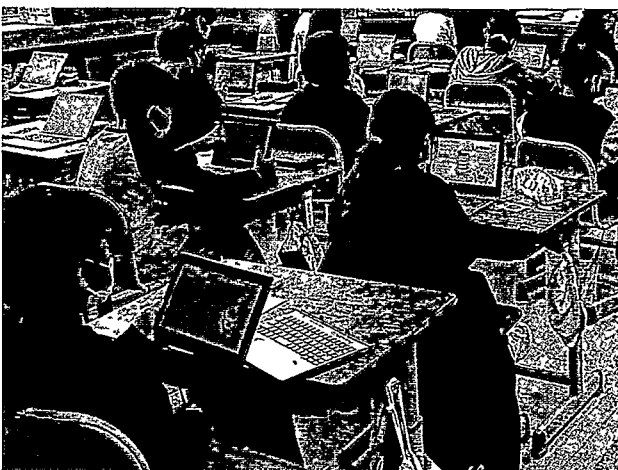
冬季の式典開催は、寒さ
や乾燥などにより、感染拡
大の危険性が高まる可能
性があるため、気候が良くな
る四月三〇日(土)に開催
することとしました。

会場は「山形国際交流プ
ラザ(ビッグウィング)」
で、前回同様に卒業した中
学校区で概ね南北のエリア
に区分し、午前・午後の二
回に分けての開催になりま
す。

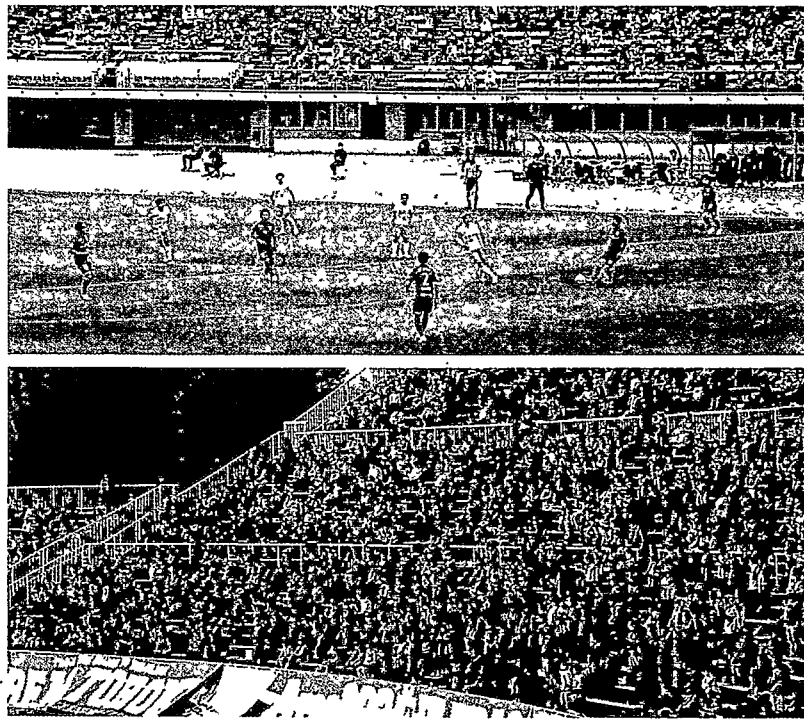
感染対策としてSNS等
を活用して事前に参加登録
制とします。

令和三年度の成人式の祝
賀式に参加できなかった方
にも呼びかけま
す。

また、令和四年
四月一日から成人
年齢が一八歳に引
き下げられます
が、式典の参加者
はこれまでどおり
「二〇歳の方」を
対象とするため、
「成人の祝賀式」
という名称を変更
することを検討し
ていきます。



タブレットを使用した授業



モンテディオ山形の活躍を期待!!

サッカー場建設議論は？ どうなっている？

● 総務委員会

総務決算委員会で「二〇二五年運用開始としている新サッカー場建設について、一説には建設費用は一五〇億円とも二〇〇億円と

も言われており、県民総意でなければ建設は不可能だ。以前各自治体に建設意向の調査を行い、誘致自治体を公募するとしていた。

情報があまりにも少なすぎる。その後の経過、議論はどうなっているか。」との質疑に対し、当局から「山形スタジアム探求会の議論を経て、現在は山形市と天童市のみが誘致に手を上げている状況だ。

当初のコンペ方式ではなく、株式会社モンテディオ山形が山形市、天童市で折衝している状況である。

本市はモンテファーストの考え方を示し、山形市内への誘致を働きかけている。現在事業スキームなどの前提条件を含めて意見交換を行っているが、条件に合うようであれば、より具体的提案し、積極的にすすめていきたい。」との答弁がありました。

天然芝。収容観客は一万五千人〜二万人。供用開始は二五年とすれば、市内でも誘致運動をしている地区もあるだけに、できるだけ早く候補地を決定し、建設に着手すべきことを強く働きかけをすることを要請しました。

「料亭千歳館」が公園に

● 環境建設委員会

10月8日に全員協議会が開催され、「料亭千歳館」について、「本町・七日町地区」における公園空白地域の解消と山形市中心市街地ランドデザイン（料亭文化ゾーン）に基づき、文化財建造物一体となる利活用の検討を進め、新たな魅力ある「(仮称)花小路公園」の整備を図ることが報告されました。

文化財に指定されている建造物と庭木については、市に寄贈し、約2,500㎡の土地については市が購入するとしています。

質疑では、寺町、七日町三丁目地区、都市計画道路諏訪町・七日町線と一体となった都市整備や公園内での飲食の可否などがだされました。

今後、旧大沼デパートと同様のサウンディング調査を重ね、内容をつめていくとしています。



公園となる千歳館

政務活動費支出報告書

支出番号No.

研究研修費	<input type="checkbox"/>	支出年月日	令和3年- 11月 26日 支出							
調査旅費	<input type="checkbox"/>									
広報広聴費	<input checked="" type="checkbox"/>	支出額	¥	1	6	5,	3	6	2	円
要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/>									
資料作成費	<input type="checkbox"/>	支出先	東京都千代田区霞ヶ関1-3-2 日本郵便株式会社 流通センター内郵便局 扱							
資料購入費	<input type="checkbox"/>									
人件費	<input type="checkbox"/>									
事務所費	<input type="checkbox"/>									
通信・交通費	<input type="checkbox"/>									
支出内容 市政報告書郵送代 市政報告書ふれあいNO.129 2,192通の送付代 165,362円										
【領収書添付】○重ならないよう添付してください。 ○表面のみに貼付し、不足のときは様式2を使用してください。										

領収書

遠藤 吉久 様

[別納引受]
区内特別基 (定)
@73 1,706通 ¥124,538

小 計 ¥124,538

第一種定形
@84 486通 ¥40,824

小 計 ¥40,824

郵便物引受合計通数 2,192通
課税計 (10%) ¥165,362
(内消費税等 ¥15,032)
非課税計 ¥0

△計 ¥165,362
口計
お預り金額 ¥170,000
おつり ¥4,638

印紙税申告納
付につき趣町
税務署承認済



〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
取扱日時：2021年11月26日 14:31
発行No. 211126A4466 端N70箱01
連絡先：山形流通センター内郵便
局
TEL:023-641-9364

政務活動費支出報告書

支出番号No.

研究研修費	<input type="checkbox"/>	支出年月日	令和 3年 - 12 月 2日 支出					
調査旅費	<input type="checkbox"/>							
広報広聴費	<input checked="" type="checkbox"/>	支 出 額	¥	8	9,	7	3	円
要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/>							
資料作成費	<input type="checkbox"/>	支 出 先	山形市銅町1-1-5 中央印刷株式会社					
資料購入費	<input type="checkbox"/>							
人件費	<input type="checkbox"/>							
事務所費	<input type="checkbox"/>							
通信・交通費	<input type="checkbox"/>							

支出内容
 市政報告書No.58 印刷代 @30 × 2,500部 + 消費税 = 82,500円
 封入・封緘作業 @3. × 2,192部 + 消費税 = 7,233円
 計 89,733円

【領収書添付】○重ならないよう添付してください。
 ○表面のみに貼付し、不足のときは様式2を使用してください。

領 収 証

No. 33732

遠藤 吾久 様

2021年 12月 2日

金 額	千	百	拾	万	千	百	拾	円
				¥	8	9	7	3
								3
								-

内品代金	円
消費税額	円

- 現金
- 小切手
- 手形
- 振込
- 相殺

但し 市政報告書No.58 @30×2,500部
 封入作業 @3.×2,192部として
 上記の金額正に領収致しました

中央印刷株式会社
 ☎990-0051 山形市銅町1-1-5
 〒981-5533

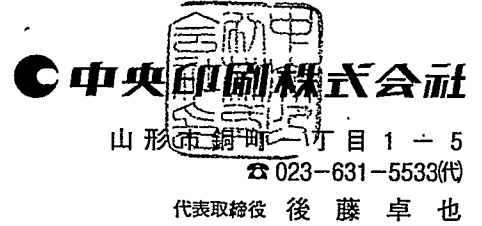


取扱者印

請求書

発行日	21年11月24日
-----	-----------

遠藤吉久 様



下記の通り御請求申し上げます。

PAGE:1/1

今回御買上額	消費税	今回御請求額
81,576	8,157	89,733

日付	No.	品名/内容	数量	単価	金額
11/24	115213	市政報告NO. 5 8	2,500	30.00	75,000
11/24	115214	封入作業	2,192	3.00	6,576

えんどう 吉久 市政報告

発行責任者 遠藤 吉久 山形市落合町403番地 電話641-2783 FAX641-2785

H P <http://www.endo-yoshihisa.jp> E-mail y-endo@endo-yoshihisa.jp

第六波に備えつつ 日常を取り戻しましょう!

新型コロナ感染者も減少し、決して油断できませんが少しは平穏が戻ってきました。

この間、医療関係者はじめ、関連の業務に携わっておられる皆様方には、本当にご苦労様です。心から感謝申し上げます。

市民の皆様方におかれましても、引き続き制限、制約のある生活になるかもしれませんが、三回目の接種や経口治療薬さらには日本で開発されるワクチンに期待し、第六波やインフルエンザに十分留意しながら、日常を取り戻して参りましょう。

引き続き、対策を講じなければならないことなどがございましたら、お寄せいただきますようお願いいたします。



《9月議会で可決した対策費など》

(1) 新型コロナウイルス感染症対策事業

543,672千円

①ワクチン接種を希望する12歳以上の市民全員の接種に要する経費。

集団接種会場の運営、誘導、医師による予診・接種・急性反応への対応など。

コールセンター運営、周知に要する経費。

②住居確保給付金支給事業

離職や廃業などにより収入が減少し、住居

を喪失又は喪失するおそれのある方に対して、再支給に該当する方への増額補正。

③福祉灯油購入費等給付事業

冬期間における要件に該当する世帯への5千円の支給。

④救急自動車への感染防止資機材の購入費

(2) 事業継続支援給付事業

306,657千円

令和3年8月又は9月のどちらかの月の売り上げが、前年又は前々年同月と比べ30%以上減少している市内の個人事業主又は中秋企業事業者に対して、1事業者に10万円を支給する。

想定事業者 約2,500事業者

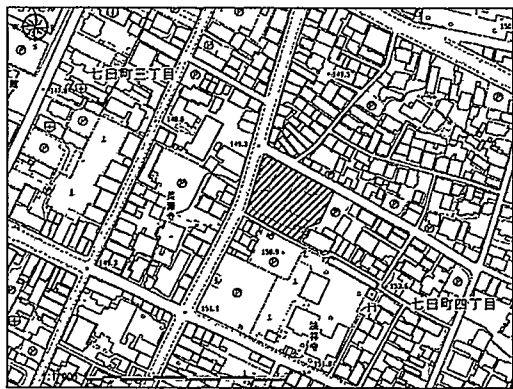
中心市街地に「公園！」

— 料亭「千歳館」2,500㎡を整備 —

《変わる街並み》

10月8日全員協議会が招集され、「料亭千歳館」を公園に整備していくことが示されました。

計画では、国登録有形文化財である本館ほか二つの建物を歴史的建造物として遺して市が譲り受け、土地については市が買収するとしています。



《大正・昭和のロマン香る

建造物、料亭文化をどう遺す？》

また、これまでも老舗料亭、旅館、漬物店が廃業しマンションなどが建設されてきています。

私と公の利益の調整をいかに図っていくべきか、料亭文化をいかに守っていくか難しい課題ではありますが、今後とも市民の皆さんと議論を積み重ねて参りたいと存じます。

なお、この度の公園整備が完了すれば、市街化区域内の公園空白地域は、「大野目」「鉄砲町」の二地区となります。

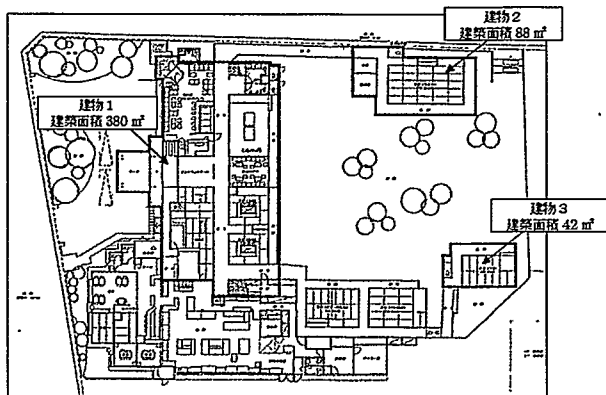
《サウンディング型調査とは？》

また、利活用提案の募集に向けて、民間事業者との対話を行う「サウンディング型市場調査」を実施します。

これは、公的不動産の利活用や公共事業への民間活力の導入等の検討にあたり、民間事業者と対話を通して広く意見や提案を求めることにより、実現性が高く事業効率のよい公募条件を把握する市場調査のことを言います。

《周辺一帯、地区とマッチングした整備を》

協議会では、都市計画道路「諏訪町・七日町線」の進捗推進、寺町地区、山形銀行本店改築にも合わせた七日町三丁目地区、そして旧大沼デパート跡地開発と一体、連動した整備を求めました。



「保育料負担」軽減へ！ — 令和三年九月分から適用 —

山形市では国に従い、すでに三歳以上の児童への保育料を無料としています。さらに三歳児未満児の負担軽減措置をとることとしました。

県が負担軽減に取り組むとしたことから、安心して子育てできる環境を整えるためです。その標準時間保育の「保育料」は表のようになります。但し、年収三六〇万円未満の「ひとり親」又は「障害児世帯」の保育料はゼロ円となります。所得税九万七千円以

上の家庭と未満の家庭では、保育料に大きく差が出ることから、「見直しが必要ではないか。」との質疑に対し「県の措置は今のところ令和六年度までの措置となつていくことから、推移を見極めて検討する。」としています。

軽減後の保育料負担区分表

世帯	区分	従来の保育料	軽減後の実負担額	摘要
生活保護・非課税		円 0	円 0	
年収 300万円未満	市町村民税均等割課税	9,200	0	
	所得割 15,000円未満	12,700	2,950	
	所得割 48,600円未満	16,900	5,900	
年収 470万円未満	所得割 97,000円未満	20,900	5,900	
	所得割 97,000円以上	35,600 ~56,700	軽減がないため、 従来と同じ	

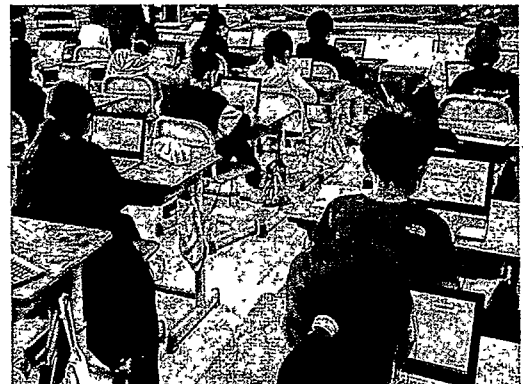
小中学生の

タブレット端末「家庭持ち帰りへ」！

— 正しく使用するためのルールを整備 —

小中学校の授業で活用され始めているタブレット端末について、家庭学習のための「持ち帰りルール」が整ったため、5年生以上の生徒たちから「持ち帰り」が始まります。令和4年度は3、4年生、令和5年度には1、2年生と段階的にすすめていきます。

長時間使用での健康被害やパスワードの管理など懸念される様々な課題について、小学生、中学生それぞれの接続制限時間の設定（小学校は21時から5時、中学校は23時から5時まで）など、正しく使用するためのルールブックの配付を行い、安全に快適に活用できる対応を図っていきます。



タブレットを使用した授業

「新サッカー場建設」の議論は怎么样了？



— 県民総意の建設に向け「情報」の共有を！ —

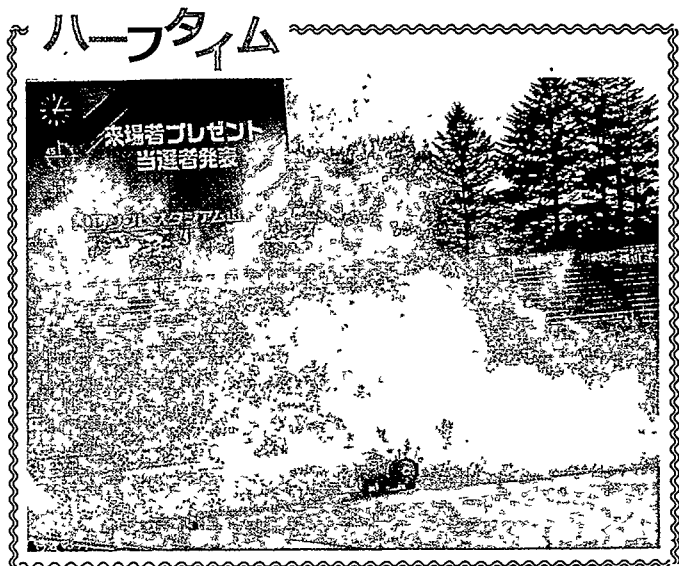
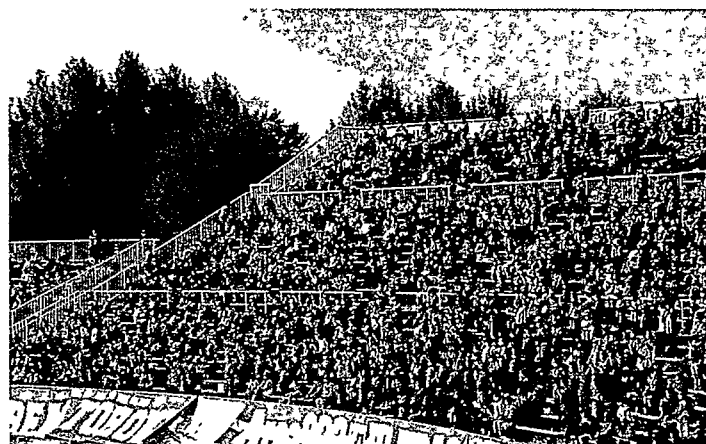
《その進展状況を質問！》

総務決算委員会で「2025年運用開始としている新サッカー場建設について、一説には建設費用は150億円とも200億円とも言われており、県民総意でなければとても建設は不可能だ。

当初は各自治体に建設意向の調査を行い、誘致自治体を公募するとしていた。コンペ方式となれば、その戦略も考えていかなければならない。市が直接の当事者でないにしても情報があまりにも少なすぎる。その後の経過、議論はどのようになっているか。」と質問してきました。

これに対し、当局から「山形スタジアム探求会の議論を経て、現在は山形市と天童市のみが誘致に手を上げている状況だ。

当初のコンペ方式ではなく、株式会社モンテディオ山形が山形市、天童市と折衝している状況である。



本市はモンテファーストの考え方を示し、山形市内への誘致を働きかけている。現在事業スキームなどの前提条件を含めて意見交換を行っているが、条件に合うようであれば、より具体的に提案し、積極的にすすめていきたい。」との答弁がありました。

天然芝。収容観客は1万5千人～2万人。供用開始は'25年とすれば、市内で誘致運動をしている千歳地区などもあるだけに、できるだけ早く候補地を決定し、県民総意の基に建設に着手すべきことを強く働きかけをすることを要請しました。

政務活動費支出報告書

支出番号No.

研究研修費	<input type="checkbox"/>	支出年月日	令和 3年 12 月28日 支出						
調査旅費	<input type="checkbox"/>								
広報広聴費	<input checked="" type="checkbox"/>	支出額	¥	8	9,	1	0	0	円
要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/>								
資料作成費	<input type="checkbox"/>	支出先	山形市銅町1-1-5 中央印刷株式会社						
資料購入費	<input type="checkbox"/>								
人件費	<input type="checkbox"/>								
事務所費	<input type="checkbox"/>								
通信・交通費	<input type="checkbox"/>								

支出内容
 市政報告書No.59 印刷代
 @30 × 3,000部 + 消費税 = 89,100円
 計 89,100円

【領収書添付】○重ならないよう添付してください。
 ○表面のみに貼付し、不足のときは様式2を使用してください。

領 収 証

No. 34039

遠藤 浩文 様

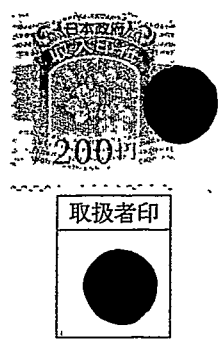
2021年12月28日

金 額	千	百	拾	万	千	百	拾	円
				¥	8	9	1	00-

内	品代金	円
訳	消費税額	円
	現金	✓
	小切手	
	手形	
	振込	
	相殺	

但し市政報告書No.59 3,000部 @27
 印刷代として
 上記の金額正に領収致しました

中央印刷株式会社
 ☎990-0051 山形市銅町1-5
 〒981-0287 0287-5533(代)



取扱者印

中核市からの県都づくり No.59 12月議会定例会・臨時議会特集号

えんどう よし ひさ 吉久 市政報告

発行責任者 遠藤 吉久 山形市落合町403番地 電話641-2783 FAX641-2785

H P <http://www.endo-yoshihisa.jp> E-mail y-endo@endo-yoshihisa.jp



市民の皆様方、謹んで新年のお慶びを申し上げます。昨年は大変お世話様になりました。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、まさに新型コロナウイルスへの対策と対応に明け暮れた一年となりました。市民の皆様方には、さぞや制限と制約のある生活となり、不自由な思いをされたことと存じます。

私も会派の同僚とともに一昨年来、56回を超える「独自対策会議」を開催し、市民の皆様方のご要望やご意見をまとめ、当局に改善を要求してきました。

記憶に新しいところでは、昨年5月に実施した65歳以上の高齢者ワクチン予約方法でした。



話とインターネットの二本立て、しかもワクチン2万2千人分に対して対象者7万2千人が一斉に予約するという事で「大混乱」になりました。

もちろん、もとより市当局としてもこれらの混乱を意図したものではないことは承知しており、できるだけ早く、多くの市民の皆様に行き渡らせたいということだったと思います。

しかし、結果的に本来平等であるべき「命と健康」にかかわることが、競争するようになってしまったことは大変残念なことでした。

早速、全員協議会のなかで、市民の皆さん



からの率直な声として、これらのことを指摘し改善を求めた結果、次期予約から一歳刻みの予約日の設定や集団接種の実施が図られることになりました。

新規感染者も減少してきており平穏を取り戻しつつありますが、新たな変異株の出現もあり、まだ予断を許さない状況です。

現在は幸いに、医療、保健部門の体制も整っていますし、医療工学の研究もすすみ、さらに一瞬にして世界との情報共有もできます。

ともに英知を結集し、克服していかねばならないと思っております。

市民の皆さん！

明けない夜はありません！

一日も早いコロナの収束を願い、日常を取り戻すこと。

そして、市民の皆さんがご健康で明るい年になりますことを心から祈念し、私も頑張っ参りますことを申し上げます。ごあいさついたします。

「コロナ対策・子育て給付金」など

60億5千万円（12月定例会分のみ）を補正！

同志平地区に消防「蔵王温泉出張所」移転建設へ！

12月定例議会は11月25日から12月10日までの16日間にわたって開催され、18歳以下の児童1人につき10万円相当の給付のうち5万円を支給する予算17億5千2百万円、休日夜間診療所への補助金28百万円、PCR検査費用、入院費用などの追加1億73百万円、雇用調整助成金申請補助金4千万円、特定不妊治療費助成事業費15百万円、出産支援給付金給付費1億円、米価下落対策支援交付金23百万円、農業用ため池改修事業費負担金1億2千万円、定住者向け奨学金返還支援事業費16百万円、清風荘駐車場整備事業費36百万円などの補正予算、西部工業団地公園再編事業用地の取得、市施設の指定管理者の指定などの事件決議を原案のとおり可決、決定し閉会しました。

また、頻発する災害対応や消防本部庁舎の新築、済生館・市民会館の改築、有害鳥獣対策などを集中的に審議するために「防災対策」「まちづくり・有害鳥獣対策」の二特別委員会を設置しました。

さらに、12月24日の臨時議会で「10万円給付金」の残り5万円を年内給付するための補正予算を可決しました。

以下、12月議会を中心とした主な内容をご報告いたします。

18歳以下10万円給付金 2転3転で結局、 5万+5万で年内支給！

子どもの未来を拓く観点から、18歳以下の児童（348百人）1人につき10万円相当の給付を行うとする国の子育て支援策に対応し、そのうち5万円について年内支給とすべく予算を議決したところでした。

その後、政府が現金一括給付、5万円ずつの現金給付、5万円とクーポン券での配付も可と方針変更し、本市では追加5万円現金給付とし臨時会でさらに補正をしました。

《なお残る問題点》

①地方自治体の事情を考慮していない

原則としていたクーポン券は費用を要すことやワクチンの追加接種、年度末、始めの多忙な時期の配付となるため、当初から問題視されていました。

もっと早くに方針転換をして欲しかったのが、各自治体の率直な声です。

②収入による家庭、子ども間の不公平

子どもの未来を拓くためであるならば、子ども全員に一律給付すべきであるはず。

結局、子育て対策なのか、経済対策なのか位置づけが曖昧になりました。

蔵王温泉
新出張所運用開始は令和7年度
消防・救急専隊化へ

かねて移転先を検討中でしたが、防災拠点としての安全性や出動のしやすさなどを総合的に勘案し、「同志平地区」を最適地として決定しました。

敷地面積は2,000㎡を予定しています。

《施設規模》

建築構造 鉄筋コンクリート造 2階建
 建築面積 560㎡ 延床730㎡

《消防体制》

- 消防ポンプ自動車、高規格自動車、火災予防査察車 各1台配備予定
- 山間部で遠隔地の蔵王温泉地区には救急隊の配備がなく、市内有数の観光地である同地区の課題であった救急隊を確保するため、専任救急隊を新たに配置します。消防、救急10名ずつの20名体制とします。

《移転建替スケジュール》

令和4年度	用地交渉、用地測量、造成設計、上下水道設計
5年度	造成工事、上下水道工事、地質調査（建築）、建築基本・実施設計、外構設計、建築工事
6年度	建築工事
7年度	外構工事、車両搬入等 竣工・運用開始
8年度	既存庁舎解体

※下線部は、山形市土地開発公社へ依頼予定。事業費については、令和4年度当初予算で債務負担設定。

健康寿命延伸に向け

二つの仮称推進計画を
策定しています！



ウォーキング推進計画

自転車活用計画

山形市では、「山形市発展計画2025」において「健康の保持・増進」を定め、健康寿命の延伸に向け、食事（S）、運動（U）、休養（K）、社会（S）、禁煙・受動喫煙防止（K）に留意する「SUKSK（スクスク）生活」を推進するほか、身近な場所で健康な体づくりができる環境整備を行おうとしています。

こうしたことを踏まえ、市民の安全快適な移動となる歩行環境整備、自転車を利用できる走行空間整備を行うとともに、ウォーキング、自転車利用を促すきっかけ作りや仕組みづくりをしていくものです。

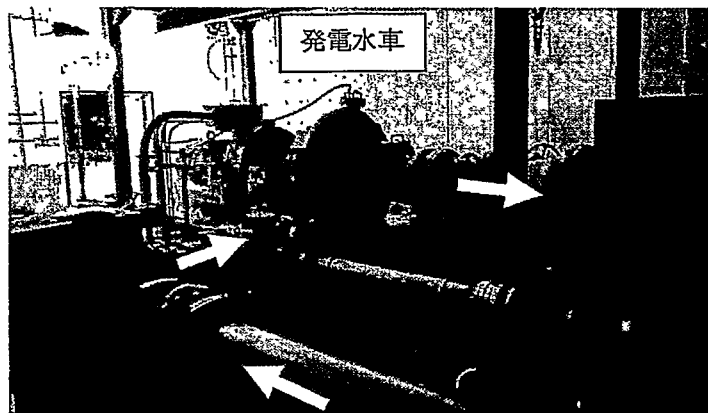
それぞれの計画では、「安全・安心」「健康」「歩行環境」「走行環境」の課題を整理し、「多様なニーズに対応したウォーキングコース設定」「サイクリングコースを市民や観光客が気軽に利用できるよう、様々なニーズに対応したコース設定」などに努めていくとしています。

宝沢ほたる発電所 運用開始へ！



令和3年12月「宝沢ほたる発電所」の運用が開始されます。山形市上下水道部が給水収益減少が続くなか、収入増加につなげるため導入した事業です。

蔵王ダムから取水している水道水を上下水道部が管理する導水管路から、契約事業者・三峰川（みぶかわ）電力（株）が建設した小水力発電施設に取り込み、水道用水の流れと高低差を利用し「水車」による発電を行うものです。



宝沢ほたる発電所内部

上宝沢地内、不動沢川と馬見ヶ崎川の合流地点上流に建設され、年間発電量は約140万kW（一般家庭の約480世帯分）と想定しています。

この小水力発電事業は民間活力を活用する事業として契約事業者が発電施設の運転管理と売電を行い、売電収入の一部を水道施設利用料及び事業地の賃貸料として上下水道部に納入する契約で運用されます。

上下水道部の年間収入は、年間稼働率98%で約1,200万円と予想しています。

水道用水を取り込み発電水車を回す設備となるため、発電水車は安全に用水を利用する

素材や仕組みとなっています。

平成26年に松原浄水場に設置した設備に続き、低炭素社会への貢献、持続可能な上下水道事業にむけての安定収入の確保などの一助となっていくものと期待されます。

遺骨の眠る土を 埋め立てに使 わないで！

— 意見書提案者を担う！！ —

沖縄戦戦没者の遺骨が含まれた土砂を埋め立てに使用しないことを求める請願を採択し、意見書を衆参議長、内閣総理大臣、関係大臣に送付しました。

沖縄県では山形県出身者が多く所属していた歩兵第32連隊の遺骨が眠る土を埋め立てに使われる事態が発生しています。

2016年に施行された法律は「遺骨収集」を国の責務と定め、2024年までを集中実施期間と位置づけています。

意見書提案では、「沖縄南部で本土防衛のため最後まで戦った776名の尊い遺骨も含まれている。戦没者の尊い犠牲の上に平和を享受してきた私たちが、戦争の犠牲となった人々の眠る土を埋め立てに使うことは許されない。」と強く訴えました。



穏やかな辺野古の海辺（6年前）

政務活動費支出報告書

支出番号No.

研究研修費	<input type="checkbox"/>	支出年月日	令和 4年 1月 31日 支出						
調査旅費	<input type="checkbox"/>								
広報広聴費	<input checked="" type="checkbox"/>	支出額	¥	6	4,	6	0	0	円
要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/>								
資料作成費	<input type="checkbox"/>	支出先	山形市旅籠町2-1-33 合資会社 大仁堂印刷所						
資料購入費	<input type="checkbox"/>								
人件費	<input type="checkbox"/>								
事務所費	<input type="checkbox"/>								
通信・交通費	<input type="checkbox"/>								

支出内容

市政報告書ふれあいNo.130 2,500部印刷代 64,600円

領収証

NO.

令和4年1月31日

遠藤吉久 様

金額 ¥64,600-

内消費税額¥ 税込

上記の金額正に領収いたしました。誠にありがとうございます。

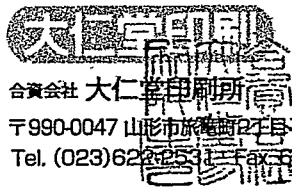
但しふれあいNo.130, 2500部

入金内訳

現金 9

小切手

相殺



合資会社 大仁堂印刷所
〒990-0047 山形市旅籠町2丁目033
Tel. (023)622-2531 Fax 624-2482

【発行責任者】 山形市旅籠町 2-3-25 山形市議会内 【市民連合山形市議団】 TEL 641-1212 内線 721



新型コロナウイルスを克服し

明るいう希望の年へ！

山形市議会議員 えんどう 吉久

市民の皆様方、謹んで新年のお慶びを申し上げます。昨年は大変お世話様になりました。ありがとうございます。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、まさに新型コロナウイルスへの対策と対応に明け暮れた一年となりました。市民の皆様方には、さぞや制限と制約のある生活となり、不自由な思いをされたことと存じます。

私も会派の同僚とともに一昨年来、五六回を超える「独自対策会議」を開催し、市民の皆様方のご要望やご意見をまとめ、当局に改善を要求し

てきました。

記憶に新しいところは、昨年五月に実施した六五歳以上の高齢者ワクチン予約方法でした。

電話とインターネットの二本立て、しかもワクチン二万二千二人分に対して対象者七万二千人が一斉に予約するということで「大混乱」になりました。

もちろん、もとより市当局としてもこれらの混乱を意図したものではありません。いことは承知しており、できるだけ早く、多くの市民の皆様に行き渡らせたいということだったと思います。

しかし、結果的に本来平等であるべき「命と健

康」にかかわることが、競争するようなことになつてしまったことは大変残念なことでした。

早速、全員協議会の中から、市民の皆さんからの率直な声として、これらのことを指摘し改善を求めた結果、次期予約から一歳刻みの予約日の設定や集団接種の実施が図られることになりました。

新規感染者も減少してきており平穏を取り戻しつつあったと思っておりますが、オミクロン株が猛威をふるうこととなりました。

三回目の接種体制を急ぎ、一日も早く市民の皆様方から安心、安全な毎

日を過ごしていただきました。いと願っております。

現在は幸いに、医療、保健部門の体制も整っています。医療工学の研究もすすみ、さらに一瞬にして世界との情報共有もできます。

飲み薬の治療薬もありますし、ワクチンの研究もさらにすすむと期待しております。

降雪も多い年となっております。おりましたが、一日も早いコロナの収束を願ひ、日常を取りもどし、市民の皆様がご健康で明るい年になりますことを心から祈念し、私も頑張つて参りますことを申し上げます。ましてごあいさつといたします。

コロナ対策・子育て給付金など77億9千万円補正可決！

同志平地区に消防「蔵王温泉出張所」移転建設へ！

— 「防災対策」「まちづくり・鳥獣対策」2特別委員会を設置 —

二月定例議会は一月二十五日から二月一日までの一六日間にあたり開催され、一八歳以下の児童一人につき一〇万円相当の給付のうち五万円を支給する予算一七億五千二百万円、休日夜間診療所への補助金二八百万円、PCR検査費用、入院費用などの追加一億七千三百万円、雇用調整助成金申請補助金四千万円、特定不妊治療費助成事業費一五百万円、出産支援給付金給付費一億円、米価下落対策支援助交付金二三百万円、農業用ため池改修事業費負担金一億二千万円、定住者向け奨学金返還支援助事業費一六百万円、清風荘駐車場整備事業費二六百万円などの補正予算、西部工業団地公園再編事業用地の取得、市施設の指定管理者の指定などの事件決議を原案のとおり可決、決定し閉会しました。

また、二月二四日の臨時議会で政府の子育て支援金支給方針の変更を受けて、残りの五万円についても現金で支給する予算一七億五千万円を可決しました。

頻発する災害対応や消防本部庁舎の新築、済生館・市民会館の改築、有害鳥獣対策などを集中的に審議するために「防災対策」「まちづくり・有害鳥獣対策」の二特別委員会を設置し議論し政策提言を行うこととしました。

以下、二月定例・臨時議会で主な内容をご報告いたします。



子育て特別給付金

《経過》

十八歳以下の児童一人につき一〇万円相当を給付するとの「子育て支援策」に対応するため、二月定例会で予算を可決(財源全額国庫支出金)し、そのうち

五万円を二月一五日から現金支給を開始してしました。

その後、残りの五万円について、「必ずしもクーポン券に依らず現金での支給も可」との方針変更を受

け、残りの五万円も現金給付にするため二月二四日の臨時会で補正予算を可決し、大半の方々については年内に一〇万円が支給されることとなりました。

申請によらない、二度目の口座振り込み手数料は一六〇万円となりました。

《支給主旨の問題点》

児童手当は一定の所得がある場合は減額支給となりますが、この度の給付金は支給されません。

このため「子育て支援であれば、所得にかかわらず支給すべきではないか。」との質疑があり、これに対して市長は「困窮者の救済、経済回復という目的があるので所得制限を設けた。それを行わないと、その分市が全額負担しなければならず、その額は三億三千万円になる。」との答弁がありました。

また、DV被害者への支給の手立て、配慮を求める意見が多く出ました。

《国と地方自治体の関係》

当初半分はクーポン券によるとしていたことから、各自治体からは①三回目の接種時期と重なる。コロナ下のなか参加店の募集、支払い事務量が膨大となるこ

と。②印刷費など経費の増。また、受給者からは、何よりも早期支給と使い勝手から現金を求める声が多くありました。これらことから善処策について質したところ「国

とは従属的な関係ではなく、自治体の実情、市民の要望を十分把握し対処していくよう中核市長会などで強く要望していく。」との答弁がありました。



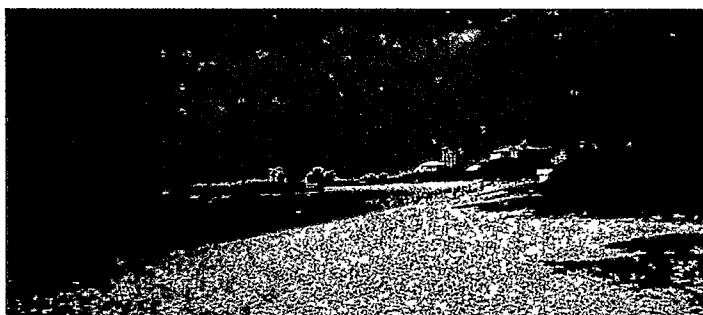
意見書を採択

「戦没者遺骨収集推進法」が二〇一六年衆議院で全会一致で可決成立し、同年から二〇二四年までを遺骨収集の「集中実施期間」と定められました。

今なお遺骨収集が行われています。山形県出身の歩兵三二連帯七七六名の尊い遺骨も含まれています。

遺族の高齢化がすすむなか、遺族のもとに「遺骨」をお渡しすることを目的に成立したものです。沖縄県糸満市摩文仁の南部地域には、沖縄戦で犠牲を強いられた県民、兵士の遺骨が多く残されており、

直すように求める請願・意見書を採択し衆参議長、内閣総理大臣ほか関係機関に送付しました。「戦没者の尊い犠牲のう



穏やかな辺野古の海（6年前）

えに平和を享受してきた私たちが、遺骨の眠る土を埋め立てに使うことは人道上許されることではない。」と強く提案、訴えてきました。



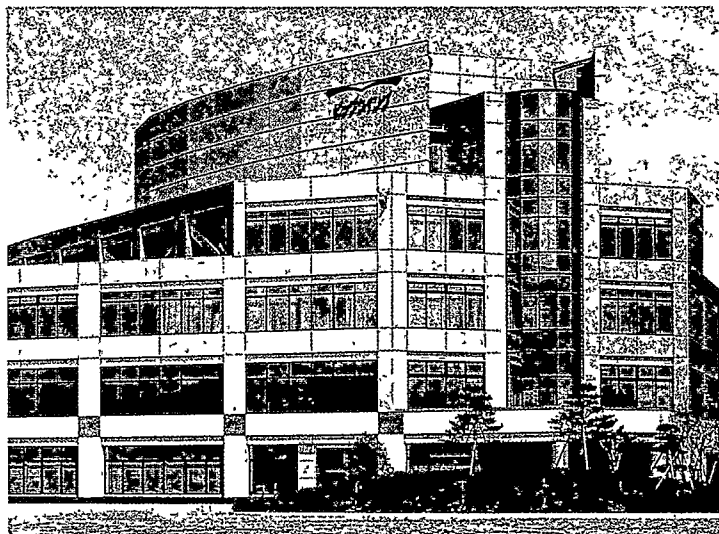
一五カ月の長期休館を想定

一九九四年八月のオープンから二八年が経過する山形国際交流プラザビッグウイングが長期休館して大規模補修・修繕をしていくことが報告されました。

当初予算で計画・計上し

見直さなければならなくなつたことにより。今年度は外壁の緊急点検と安全確保のための応急措置を行い、指定管理者の更新時期（令和七年度）に合わせ全館閉館し空調やエレ

ていた展示棟外壁補修工事について、実施に向け改めて点検、確認を行ったところ劣化箇所範囲が想定より大きかったこととや新たな劣化箇所が見つかると工事内容を抜本的に



築28年経過のビッグウイング

ペーターなどを含め、施設全体の改修を検討していくこととなりました。

閉館期間は一五カ月を想定しているため、催事や展示等への影響が出ないよう早めの対応策が必要です。

また、会議棟三階には、山形市が誇る文化資源のひとつ「山形ドキュメンタリーフィルムライブラリー」があります。

山形国際ドキュメンタリー映画祭への応募作を鑑賞したり、貴重な映画図書や関連資料を読んだりできる、市民に広く開かれた施設であるため閉館期間中の代替事業についても準備が必要です。

ユネスコ創造都市ネットワーク加盟という観点から、フィルムライブラリーの運営を担う「認定NPO山形国際ドキュメンタリー映画祭」とともに市として主体的に議論をすすめていかなければなりません。

宝沢ほたる発電所 運用開始へ！

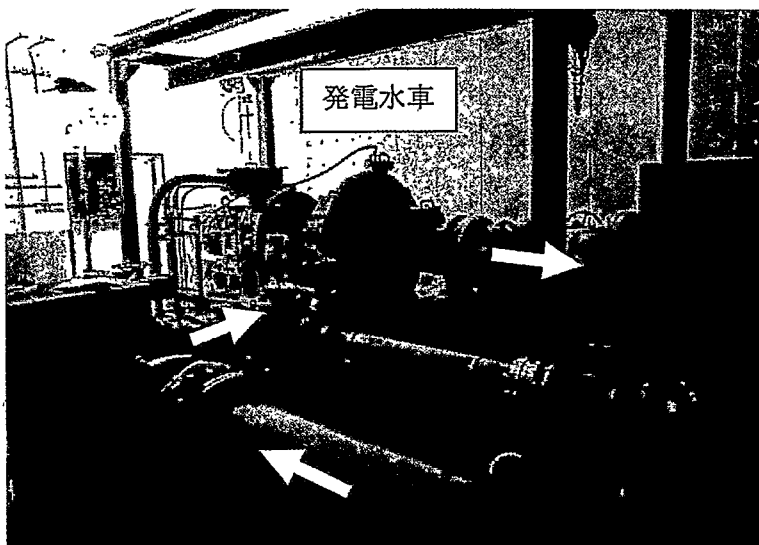
— 四八〇世帯分の発電 —

令和三年二月「宝沢ほたる発電所」の運用が開始されました。

山形市上下水道部が給水収益減少が続くなか、収入増加につなげるため導入し

た事業です。

蔵王ダムから取水している水道水を上下水道部が管理する導水管路から、契約事業者「三峰川（みぶかわ）電力株」が建設した小



ほたる発電所内部

水力発電施設に取り込み、水道用水の流れと高低差を利用し「水車」による発電を行うものです。上宝沢区内、不動沢川と馬見ヶ崎川の合流地点上流に建設され、年間発電量は約一四〇

万kW（一般家庭の四八〇世帯分）を想定しています。

この小水力発電事業は民間活力を活用する事業として、契約事業者が発電施設の運転管理と売電を行い、売電収入の一部を水道施設利用料及び事業地の賃貸料として上下水道部に納入する契約で運用されます。上下水道部の年間収入は年間稼働率九八%で約一二

〇〇万円と予想しています。

水道水を取り込み発電水を回す設備となるため、発電水車は安全に用水を利用する素材や仕組みとなっています。

平成二六年に設置した松原浄水場に続き、低炭素社会への貢献として期待されます。



— 消防・救急それぞれ専隊化に —

かねて移転先を検討していた蔵王温泉出張所について、防災拠点としての安全性や出動しやすさなどを総合的に勘案し、「同志平地区」に建設することとなりました。

〇miで消防、救急それぞれ一〇名の専隊とします。

消防ポンプ車、高規格自動車、火災予防査察車を各一台配置します。

鉄筋コンクリート二階建てで、総延べ床面積は七三

令和五年度から造成工事、建築着工し令和七年度竣工、運用開始となる予定です。

〒 990-0075

領 収 書

御住所 山形市落合町403

R04年 02月 17日

御名前 遠藤 吉久 様

御得意様No.

(株)毎日新聞山形中央専売所

山形市錦町15-68

代表取締役 佐藤和広

TEL 642-1620

FAX 642-1638

下記のとおり領収いたしました

R03年 11月 ~ R04年 03月分

領 収 金 額

¥37,000(税込)

	銘柄名	部数	月数	単価	金額
1	毎日新聞※	1	5	3,400	17,000
2	日本経済新聞※	1	5	4,000	20,000
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					

合計 (内消費税 ¥2,740) ¥37,000(税込)

(※印は軽減税率対象です)

8%対象合計 37,000円 内消費税 2,740円

Empty rectangular box for stamp or signature.

Empty rectangular box for stamp or signature.

政務活動費支出報告書

支出番号No.

研究研修費	<input type="checkbox"/>	支出年月日	令和 4年 3 月 25日 支出						
調査旅費	<input type="checkbox"/>								
広報広聴費	<input type="checkbox"/>	支 出 額	¥	4	0,	7	7	9	円
要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/>								
資料作成費	<input type="checkbox"/>	支 出 先	山形市緑町2-14-5 有限会社イタガキ新聞販売 代表取締役 板垣 富志喜						
資料購入費	<input checked="" type="checkbox"/>								
人件費	<input type="checkbox"/>								
事務所費	<input type="checkbox"/>								
通信・交通費	<input type="checkbox"/>								

支出内容

朝日新聞

令和3年4月～令和3年6月分

@3,093×3月分 = 9,279円

令和3年7月～令和4年3月分

@3,500×9月分 = 31,500円

計 40,779円

領 収 証 No.

板垣 富志喜 様 令和4年3月25日

★ 74,077.9

但 朝日新聞 2021/4/6A 0.3093×3分 9,279
 2021/7/25 0.3500×9分 31,500
 74077.9
 上記正に領収いたしました

〒990-0041
 山形市緑町三丁目14番5号
 有限会社イタガキ新聞販売
 代表取締役 板垣 富志喜
 TEL023-623-0785・FAX623-0788

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

政務活動費支出報告書

支出番号No.

研究研修費	<input type="checkbox"/>	支出年月日	令和 4年 3 月 29日 支出						
調査旅費	<input type="checkbox"/>								
広報広聴費	<input type="checkbox"/>	支出額	¥	1	5,	0	1	8	円
要請・陳情活動費	<input type="checkbox"/>								
資料作成費	<input type="checkbox"/>	支出先	山形市旅籠町2-5-12 山新販売株式会社						
資料購入費	<input checked="" type="checkbox"/>		(山形市芳野26 大野目営業所)						
人件費	<input type="checkbox"/>								
事務所費	<input type="checkbox"/>								
通信・交通費	<input type="checkbox"/>								

支出内容

山形新聞

令和3年4月~令和4年3月分

@3,700×12月分 = 44,400円

44,400円のうち、政務活動費分として 15,018円を計上

No 045603

【領収書添付】

重たから、本付、この、い、
し、表面のみに記入し、本是のこの、様式2を便して、下さい。

領収書

4年3月29日

遠藤 吉久 様

山新販売株式会社

〒990-0047 山形市旅籠町二番12号
山形市芳野26番地
大野目営業所
TEL (0235) 6111
FAX (0235) 6113

収入印紙

¥ 44,400 円

(うち消費税 円)

上記の金額を領収致しました。

大野目営業所
山形市芳野26番地
(642) 3869

受取人印

品名	数量	単価	金額	受取金額
山形新聞	12	3700	44400	44400
R3年 R4年 4月~3月分購読料				
合計				¥44400